

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-120)、  
廃棄物管理施設(95)、MOX 燃料加工施設(2-77))」

2. 日時: 令和5年11月15日(水) 10時00分~12時20分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任  
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審  
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他6名

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月14日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
- ・評価の説明の進め方

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況については、今後の説明計画が明確になるように整理する。
- ・評価の説明については、これまで整理している要求事項や構造設計等の説明との関連性を整理し、適切に類型して説明できるよう整理を進め、具体例を示す。

#### 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

#### 7. その他

提出資料  
なし

#### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年11月14日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	お願いします。
0:00:02	規制庁深見です。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請のあった再処理施設、管理施設の
0:00:16	設問申請、また、令和5年2月26日先生になった、MOX燃料加工施設の設工認申請について、昨日11月14日提出のあった資料を基に事実確認するものです。
0:00:31	規制庁側の出席者ですけども、このヨコヤマハバサキアライカミデ。
0:00:37	ウェブから、
0:00:40	技師の方がオオハシフジワラコサクとなっていますそれでは日本原燃から、出席者と、資料の説明をお願いします。
0:00:52	はい。日本原燃事務局の浜でございます。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	ヒアリングチームより、ケツクノモトイシハラ。
0:01:05	ウェブからの参加で、ハセガワイシグロタカヤ。
0:01:11	MOX及び再処理の事務局参加させていただいております。
0:01:16	本日も確認いただきます資料でございますけど先ほど紹介のありました、昨日、提出差し上げました、設工認申請の対応状況について、
0:01:26	介護資料及び
0:01:29	資料4に関わる記載方針等の整理についての進め方、以上二つの資料についてご確認いただきたいと思っております。
0:01:37	それでは介護資料の方から、互角へ説明をさせていただきます。よろしくをお願いします。
0:01:44	はい。日本原燃の大戸でございます。それではですね施設コウニシノ対応状況についての介護資料案でございますけれども、前回ヒアリングいただいた時ところからの変更点。
0:01:57	御説明
0:01:59	この中でですね図表等の色ですとか識別ですかそういうところがちょっとわかりにくいところを、後、ご指摘いただいたところはそこは
0:02:10	すべて修正しているところでございます。また再掲のシートについては再掲の文字を右上にいたしました。内容的な変更点として、
0:02:20	追加なりしたところでございますけれども、14ページのところ、
0:02:25	しまして、こちらが
0:02:29	ですね、ここ自身は干渉による検討のご説明でございますけれども、このですね、表層のところの、

0:02:39	この重複反射が起きているというところの西垣場の特性の記載ですね、これが少しちょっとわかりにくい文章になってございましたので、その岩盤と表層の境界の傾斜、
0:02:52	の話とそれから表層年速度のコントラストの二つの点が特徴的なことなんであると、ということがわかるようにという意図での文章の修正をさせていただきます。
0:03:04	それから 16 ページでございます。冷蔵も、このえさ転送がえられるまでのプロセスにつきまして、コウですね、どう処理したかというところの文章を出しているところでございます。
0:03:19	それから、最後の 19 ページのところでございますけれども、ここですね、本次回の説明内容ということで、
0:03:30	このですね、着かいい説明の断面において、このですねデータの間の処理方針それから処理したデータの
0:03:41	そのあとの基本地盤モデルへの対応方針といったところの道筋を説明しますということをここアノさせていただいております。ですねこの記載なんですけれども、
0:03:54	昨日、大変タケモト 08 の対応方針についてのヒアリングをいただきまして、そこですね、ちょっと我々の認識が違ってるんですが誤っているところもご指摘いただいてアノにヒガシたところでございましてそれを踏まえてですね今、
0:04:10	この資料ですね反映できてないところがございます。
0:04:13	で、えっとですね、ちょっと口頭で申し訳ないんですけどもこのシートちょっと今のご提起版からちょっとこう変える予定であるということをすいませんちょっと口頭で、
0:04:25	ご説明差し上げたいと思います。
0:04:28	まず①のですね追加調査の実施状況についての説明のところでございます。すいません。都議会説明内容のうちの①の、
0:04:39	追加調査の実施状況についての説明のところでございますけれども、ここはCポツdポツという形ではなくて、岩石コアを用いた減衰測定、S検層及び、
0:04:50	上本氏の物性値のデータ取得状況ということで、三つの調査状況を並列投げる形で記載いたしまして、次回が世古以外は全数取得できる見込みという記載にさせていただきます。
0:05:03	それから②の記載でございますけれども、ここですね敷地内におけるデータに基づくパラメーターというちょっと我々の認識台の文言が今これ入ってございますけれどもここも削除いたしまして、

0:05:18	ポツbぽつぽつdぽそれぞれの要員費のそれぞれにつきまして、科学的な観点での各データの適用範囲や位置付けを踏まえたデータの分析方針を説明いたしますと、
0:05:32	あわせて追加調査を含めて、次回説明時点にてえられているデータに基づく分析結果の見通しをご説明いたしますと、こういう内容にさせていただきます。
0:05:41	で、追加調査を踏まえた分析ではということで訂正の中でございますけれども、以下に示す呉点に着目した検討を行うということで今ちょっとCポツdポツで、書いてございますけれども、
0:05:52	ぽつぽつぽつぽつぽつというようなことで、並べる形で修正しようということで、今修正が抑えてございまして、ポツの岩盤部分の分析等につきましては、
0:06:04	近接するだけはグループごとに、新たにやられたPS検層データを反映したジャンプ性等の検討を行います。
0:06:11	bポツの非線形性につきましては、上記
0:06:16	ベップでの岩盤物性等の検討結果を踏まえまして、各グループにおけます陽先生の顔影響を確認いたしますと、
0:06:24	いうことを記載してございます。
0:06:26	一つですね今ご提示してる場合にはちょっとくどいところがございまして、今回の減衰定数の検討における各調査及び評価を特徴といたしまして、信頼区間としての周期体、それから材料減衰または散乱減衰の成分、
0:06:43	対象として見頻度アオキさせていただく特需域と言ったようなキーワードだけを少しナビかというような形にさせていただきましてそれを踏まえまして、各調査評価によりえられたデータ及び、
0:06:54	評価結果の持つ物理的な意味合いを整理いたしますということで記載してございます。Dぽつは追加調査結果を反映した上で施工年代ごと、深さごとの特徴を確認して参りますと、ちょっとこういう形に、
0:07:05	今修正をかけようというふうに考えてございます。
0:07:09	で、とですね。
0:07:12	で、都丸さんのところは、このですね、2の方針で整備されるデータ分析結果に対しまして、この工学的な配慮事項を加えることにより本議案をモデルを策定する方針について考え方を説明いたします。
0:07:26	ということで、矢印の後のオールジャパンのご支援いただいといるところはそのままでございます。
0:07:32	それから次回以降の説明以降でございますけれども、④のところですねちょっと足らずがございまして、こちら予算を含めた税前データに基づく、

	②の方針の分析結果、これは御説明にしないといけないんでそれを受けていたので足しました。
0:07:47	で、アノ及びそのさんの考え方に基づき、基本基盤モデルを策定した結果を説明しますと、また基本地盤モデルによりさ、算定される入力地震動を説明しますと、
0:07:57	あるようなところはちょっとそういうような内容を記載しようというふうに考えているところでございます。
0:08:03	すいませんちょっと口頭でのご説明があつて申し訳ないんですけども、変更点上でございます。
0:08:13	はい。
0:08:14	規制庁深見です。
0:08:18	ゴトウだったので19ページからでしょうか。
0:08:21	19ページ、①はCFDPOSというわけじゃなくて全追加調査の、
0:08:28	の、
0:08:29	を出して、カンセキCore以外は出せないと。
0:08:34	全数提示っていうことは、配管施工の一部が出てくる。
0:08:40	ガス、
0:08:43	それで今ここで全数と書いているのは岩石コア以外は点数というつもりで書いてございますけれども、岩石コアがちょっとそこまで出たものでどこまで出せるかというのはちょっと出てきたものでちょっと検討させていただきたいと思えます。
0:08:57	全部じゃないけど少しは出る。
0:09:01	今現状、現状わからないですが、お約束はちょっとできないかなと思つてます。はい。はい。
0:09:12	なんか丸2番で行っていたのが、はい。
0:09:15	分析、
0:09:17	ということだと、その分析にくついで、見通して言つてたんですよね。そうですね。見通し分析方針と、分析結果見通しという言い方をさせていただきました。
0:09:30	はい、規制庁コマツつてそれは具体的にどんなことをイメージして、
0:09:35	ですね分析方針の方ですけども、出てきたデータをもとに、本ですねこの検討のステップで、
0:09:45	それぞれの
0:09:48	Aポツ. 数%レポートそのデータにつきまして、この下に書いております。いるのと少しちょっとかぶりますけれども、それぞれのデータや評価の持つ物理的な意味合いも踏まえた、

0:10:02	このデータはこういう代物であるということの分析を、全体でやる必要がございますのでそこまでは、こういう方針で分析して参りますということをご説明するということでございます。
0:10:15	すいません、全然わかんない。16 ページで話をしましょう。
0:10:21	16。はい。
0:10:23	6 ページは、データがあって、そのデータを、こんな感じで処理します。処理した結果っていう形になっているので、①で言っていること。
0:10:34	②で一定の方針ってどうですか。丸井で行っている、見通し、結果というのはどれですか。そう。それで説明します。表記いたしました。
0:10:45	①で言ってるのはこの生のDたがここまでこういう形でまとめましたそこまででございます。
0:10:51	図中、
0:10:57	名前、これで法人手数 4 までですね。はい。
0:11:02	図 4 までが、①の、
0:11:05	いや、
0:11:06	14、
0:11:08	水上ですけど、私は地球は大分違いますけど、
0:11:13	そうですね。
0:11:15	ただ、
0:11:17	はい、じゃあ 16 ページの図 4 までが、その①という生データなんだとすると、はい、そのあとの、
0:11:24	分析って一体何ですか。
0:11:26	ズキ方針ってまず何ですかね。えっとですね、これ、S波検層での生データが、この 1 個だけじゃなくって、そのコウの数だけ出て参ります。
0:11:39	S波検層のデータとしての集合体が、このコウではこれここではこれというのが出て参りますけれども、
0:11:49	このもともとその、この②の段階では、減衰についてのデータをすべて並べ切るということになるかと思えますんでこのサー検層のものを含めて、
0:12:01	データ数による検討ですが、それから既往の知見によるデータですかそういうものを全部一旦並べるということになります。
0:12:11	それぞれの非法定に基づく検討が、ヒハツ特性なり、
0:12:19	新風の特性といったような意味合いで、どのような特性を持つものかということ、もともとこの手法を選ぶというときに、そういう観点で、選んでいたわけですけどもそこに立ち返って、すいません。
0:12:34	はい。



0:12:35	7 ページも使って説明してもらってもいいですよ。②番、はい、承知いたしました。えっとですね、②番の段階では、
0:12:46	例えば 17 ページの、この右側ですね図にちょっと切れてしまって申し訳ないですけどもこういうふうな例えばアウトプットとしましては、それぞれ手法による減水が、
0:13:00	とにかく、検討した結果として全部並んで参ります。並べた結果というの、ないといえますかこういうデータを列記したものをお示しするのは、これは②の段階だというふうに思って、
0:13:12	所長さん、ある意味の段階でなって、もう方針を説明しますっていうのと、結果の見通しを説明します。臨時で説明しますっていう、こっちの話です。
0:13:26	結果、方針、方針とは何ぞやということを今お取りいただいているっていうことですよ。すみませんコサクです。
0:13:36	結局、昨日のヒアリングと同じような話をしてるんだと思ってるんですけど、はい。
0:13:42	②かですね。はい。
0:13:45	昨日も話をしたパラメータっていう言葉になってて、
0:13:49	それがの考え方及び設定の見通しってなってるんですけど、この設定って何の設定っていうようなことになって、パラメータの設定だとすると昨日の議論に戻ると、
0:14:02	いうことになっちゃうんですけど。
0:14:04	それは見直されるっていうことだったと思うので、
0:14:09	ここはあくまでも地盤モデルの設定の見通しっていうことなのかなって思うと、丸さんとじゃあ何が違うのっていうようなことになったりすると、
0:14:18	いうことなので、そこ脳どこまでっていうのを明確にするという必要があるんだと思ってます。で、先ほどまで話があったのはその前段として①と②の境界っていうようなことも、
0:14:31	境界っていうかデマケっていうことを、
0:14:33	でも話があったと。
0:14:35	いうことですけど、はい。
0:14:38	0102 の間では、
0:14:42	16 ページのどこかなのか 16 ページまでで、16 ページまでは①で 17 ページが②ですということなのかと、はい。
0:14:53	いう、まずそこを 1 回クリアにしたいんですけど、はい。
0:14:58	いつですね私思っておりますのが今おっしゃっていただいたように、16 ページまでは①、それから 16 ページもオーバーフローとする形で 17 ページでございますけど、17 ページの

0:15:12	この各手法でのデータを並べるのは②の段階であるというふうに思っております。
0:15:22	どうぞ、日本原燃ケツクですいませんちょっと昨日の内容はすべてで中途半端なところでしゃべって申し訳ございませんけど、
0:15:32	私のイメージは、結局、最後②の最後はですねこの 17 ページのですね、いろんな
0:15:43	検討結果が全部アウトプットを出して、それぞれ適用範囲が決まって例えば今、紫の線もある、いっぱい出てます。これをちょっと 3 日に延ばしてみたり、
0:15:54	いろんな考察を加えた結果、as-is要はその地盤では、非線形で右肩上がりのリニアのが、減衰としては正しい値ではないかというではない。
0:16:07	ではないですか、しょうがない。
0:16:09	なぜ正しいものっていう新しいアベ正しいというか、追い求めないデータ、データからはそう考察できるというのが出るんです。ですね、すいませんコサクです。その内容よく昨日のヒアリングの話を踏まえて、
0:16:25	整理をしていただければと思うんですけど、いろいろなデータを集めます。17 ページのようになりますので、その結果からどういうことが読み取れるのかっていうのを考察するというまでが②だということでもいいですよ。はい。そう。
0:16:41	村井。はい。おっしゃる通り、
0:16:45	コサクです考察っていうのが、どういう内容になるのかというのは昨日のヒアリングを踏まえて整理をいただければと思います。で、戻ると。はい。
0:16:57	②で書いてある考え方及び見通しというのはその考察。
0:17:04	までっていうことだと思ってるんですけど、その考察のときにどこまで踏み込むかというぐらいの話と認識すればいいですかね。
0:17:15	はい。県ノモトでございます。おっしゃる通りかと思ってましてちょっと認識がずれてないかという意味で私の今このこのお考えを申し述べさせていただきますと、
0:17:25	ですねこの段階では、各表によるデータが出てございますけれども、このですねそこまでられたデータに基づいて、この手法でのデータは、こういうことが読み取れる呉という見通しであると。
0:17:41	言ったような手法ごとのデータですね、読み取りの見通しといったようなところを申し述べるまでが②の段階かなというふうに思っております。
0:17:53	はい。補足です。データのゆ考え方、

0:18:00	分析として、地盤の特性ってこういうふうなことだろうということを考えるということまではあってそれを踏まえて③で、モデルとしてはこういうふうにしていこうと考えているという話に繋がるというふうに理解をします。
0:18:15	カミデさん、すいません。その上で、クリアにしたいことをもう少し言っていたいただければと思います。
0:18:22	はい。
0:18:24	17 ページで言って、その②で言っていることのイメージを、今の陳情と合わせて、そちらとしてやりたいのは、まずは、
0:18:35	エリアを分けたいんですね。
0:18:38	減衰としては、減衰としてはとりあえず 3 エリアっていうのを分けた上で、そのエリアごとに、いろんな手法で減衰カノウ出せましたら、どんな感じですかというのが、
0:18:51	土佐委員。はい。
0:18:53	昨日の話を踏まえると、赤線で引っ張ってある周波数依存せなしは、これは②の段階じゃないんですね。
0:19:03	②の段階では周波数依存なし引っ張ったらこれですだけです。
0:19:09	麻生いうのは中丸さんの話ですって言ったような気もして出して、どっちでもいいんですけど、
0:19:19	そう、全然載ってございます。といって、はい、リニアとか梅林様までですみたいな話をしたんで、すぐに引っ張ったのは、丸さん。
0:19:29	基本的には、いろんな調査をするとこういうリニア型で出てくるんだけど設計上の扱いやすさ、その③のところでは設計としてどう扱うかっていうことを考えたときに、
0:19:44	手話as-isなしのバスが出てくるのかなあと思ってたんですけど、そこは違う、えっとですね、ちょっと昨日のお話をちょっとたどらせ、
0:19:57	ていただくと、最初だから本村Cパラメータを設定するっていうような我々のちょっと違うよね小さくなった結論のことを申し述べていった際には、
0:20:09	そのリニアのところまでが②で③ところで、一定件数が登場するといったようなこともちょっと申し述べてはいたんですけども、昨日議論の結果でこうなったのかなと認識しておりますのは、
0:20:22	今同定として、リニアも行って減衰もそれぞれ検討としてはやったところでございますので、まずそれはデータとして、
0:20:33	会社も含めずに、この断面では、並べてやって、もちろんそれぞれの下水の特徴っていいですか、こういう同定したのに対して、

0:20:46	こういう特性といいますかどこがちょっと合わないの、衛藤考察もしておりますけれども、そこまでをすることが②の段階だというふうに思っています。
0:20:57	それを元にですね、設計で取り扱うというのは③の段階ということなのかなというふうに思っておりました。ここまでちょっと調査で一応、ご提示をして、すいません。はい。はい。はい。
0:21:09	載せるっていうんだったら
0:21:12	これは地震観測観測記録の一応中でやったので、それは設計を見越してやってはいるんだけど、別に今西として説明するんじゃないくて、
0:21:24	大事なのが、
0:21:27	要は、
0:21:28	この赤線とリニアの青線、青線の李ミイbyDニワ、あとは、バイリニア 07 カミデとか、要は、緑点線と青、青横線と赤線。
0:21:42	で見ると、伝達関数との合いが一番いいなと俺ですね、要はあとは若干コジマすね。はい。あとはこの辺の周期体はガイソウしてあるんで、あんまり信用ならないように、とは言ってもそんなに効かない。
0:21:57	というようなことを、ちゃんと②の時に整理しておくというのが大事ですから、結果出すだけじゃなくて、そういうところまでちゃんと説明するようにしています。
0:22:08	消費出しました。
0:22:12	はい、規制庁SD。
0:22:14	それを踏まえて 19 ページに戻って、②番ではそういうことが説明されますよと、いうことを、
0:22:24	次回だなということなんですけど、そうすると、
0:22:30	ミズサキ見分析の見通しっていう話をされたんでよくわからないんですけど、
0:22:37	①で岩石コア以外は、次回全数できますねと。はい。というのは、すなわち、16 ページで言う、図 4 レベル。
0:22:46	までは、もう全部出せますね。そうであるから、
0:22:51	丸井においては、何か見通し早くヤノものっていうのは今後清掃あるにしても、何か見通しっていうほどのものが出てくるっていう
0:23:01	もうほぼ一般じゃないか、それぞれ
0:23:05	ケースは検層の結果だったり、地震観測記録、
0:23:11	の検証結果として、もう②で示されちゃうんじゃないかって気がするんですけど、何かまだ
0:23:19	ホールドになるようなところがあるんですけど。カセ。

0:23:23	トガサキコア以外の検査はおっしゃる通り全部出て参ります。出て参ったところですね、16 ページのような、た。
0:23:35	といたしますかエザキソベのその減衰の結果としてのわけなんですけども、ここから読み取れる話は、追加調査で式全体に
0:23:45	様々なところで取ってますので、そういうですね平面的な観点から見たときの減衰の傾向ですとかそれから深さ方向に見た時の観点ですとかそういうようなところが、
0:23:58	ちょっと考察できるような、データとして出てくるといたしますか利用として出てくるんだというふうに思っております。ですので、この出てきたものをですね並びで見た時に、ここからデータがこういうことが読み取れるものが出ましたというところまで②でご説明差し上げるとというのが、
0:24:15	コウコウノ一緒になるかなというふうに思っているところでございます。
0:24:19	はい、規制庁。
0:24:21	そうすると、特段何か見通しとかっていう言葉がなくなることいいですか。
0:24:26	こういう考察説明できますよっていう、そういうところがまだなんですよと言われるのかなと思ったら、説明しますって言われちゃうから、そうすると別に見通しとかではなくてそういう分析をした結果を、
0:24:38	②として次回で説明します。はい。はい。
0:24:42	そうですね。見通しっていうのは岩石コアそうですねっていう意味。すいません。補足です。はい。
0:24:48	カミデが言いたいのは、少し、
0:24:52	片岡瑛瑠と結果を出す結果、1、2、3 っていう三つの結果を出しますだとするとですね、1 度には結果が出ますさんがまだデータを踏まえてやりますと、はい。
0:25:06	いうことだとすれば、市には結果を示しますという言い方になると、いうことなんですけど、
0:25:13	逆にその岩石コウノ試験というような、追加でデータが出てくるものを加味しなきゃいけないという範囲に、結果、市にもあるのであれば、それは
0:25:23	見通しという表現がいいのかどうかわかりませんが、分析状況の説明をしますと、
0:25:29	いうことで、今後岩石コアのことも含めて最終的な判断をしていきますという説明になるということだと思んですけど、どっち側になるんでしたっけ。
0:25:40	現在のでございます。はい。衛藤。今おっしゃってる岩石コアの部分のみであるので、今ここ、すいません見通しということを書いていたというそういうことになってございます。

0:25:53	混乱して申し訳ありません。
0:25:56	はい、古作です。そうすると、17 ページで書いてある図に、岩石コアの、
0:26:02	結果っていうのはどういうふうに乗っかり、トータルとしてどう判断していくっていうのは、
0:26:09	書記出しました。
0:26:12	戸上コアの結果がここで、そうですね。プロットとして、おそらく出てくるのかなというふうに思いますので、
0:26:21	すいません六ヶ所側からすいません。ちょっと補足いただいてもいいですか。
0:26:29	はい。日本原燃のオガセでございます。岩石コアのところにつきましては、昨日のヒアリングでもお話のありましたいわゆる速度構造の検討というところの観点で、何ていうんすかね、深さ方向のところのそういう依存性とかがないかという確認に用いることになりますので、
0:26:46	こちらの 17 ページに書いているようなところのグラフに、プロットされるイメージは現状持っていないところ、あくまでこちらの周波数依存性に対するの検討というところは岩石コアじゃないところ以外のところで、完結はすると、プラスでがんsecはまだ今後追加になるというところが、
0:27:02	その速度構造の検討という一つの独立した考察項目ですね、そちらが立つんですけれどもそこがまだ生まれませんという状況になりますので、先ほどアノコサクさんがおっしゃってた検討の 123 があって、1 には終わります。
0:27:15	③は、岩石コアを使った速度構造がまだできていませんというところになりますので、何ですかね
0:27:21	いわゆる位置にカセコガなんていうかね波及及ぼすみたいなのはそういうのはないかなという認識で今考えております。以上です。
0:27:29	はい、古作ですありがとうございます。念のため確認ですけど、速度構造が、
0:27:34	固まらないと、何となく 17 ページにあるフィッティングで出しているようなものとかのベースとなるものが固まらないような気もするんですけど。
0:27:46	そこはあれですかね結局フィッティングでやってるっていうことなんで、それは並べてみるというところに、
0:27:53	入ることなのか、さらにその先の、これはあくまで減衰を見るだけの話であってモデルでの速度を入れるっていうのはまた別の
0:28:04	項目ですっていう 123 って言うし、もう完全に切り分けて考えるということなのかその辺りの関係性をもう少しお話いただけますか。
0:28:15	はい。日本原燃のオガセでございます。細かい話までをするのはこの趣旨じゃないと思いますのでイメージだけちょっとお伝えすることになる

	んですけれども、今先ほど小崎さんおっしゃいましたけど、今、一、二って言ってましたけどその間、地震観測記録ないしサイエンスによるものというものにつきましては、
0:28:31	ある意味その層全体その場所全体のところのガーターのところのある意味、アダチというところの領域での検討にどうしてもなってるというところになります。岩石コアの試験ということにつきましては、いわゆる
0:28:44	の議論になりまして、仕事にどうなってるかが深さごとにどうなってるかっていう観点になりますので、あくまでその丸井っていうか、それで地震観測とかした検層の結果っていうのは、ある程度総まとめたものとしてやってる結果っていうのをまたその速度構造の資金、
0:28:59	確認をすることによって、わざわざ開けてやり直さなきゃいけないでもないよねっていうようなトップを確認するという位置付けですので、そういう意味では波及したのではないんですけれども、あくまで 0102 の、何ていうか検証みたいなそういったような位置付けになるというふうなところだと思っておりますので、
0:29:16	検討自体はそれぞれ独立するのかなというふうなところでは考えているところでございます。なので例えば岸壁は数字が出たから、そのままそれを反映しなきゃいけない位置に反映しなきゃいけないとかそういうことは無いという認識です。以上です。
0:29:30	はい、古作です大体状況はわかりました。神谷さんどうぞ。
0:29:36	はい。
0:29:38	29 ページと、何か、②は、大体結果は出て、それがどういうものを説明されるけど、岩石コアとかいうと全部じゃないよっていうのがあって、
0:29:52	疇津さつき周り 4D02 の結果って言ってましたけど、そこは何だろう、追加の結果とか最終的な割りの結果があり、そこで
0:30:03	基本地盤モデルがこんな感じになりますよっていうのが自治会になるっていうそれぐらいの進捗かっていう話が進められそうということですかね。はい。辨野でございます。はい。その通りでございます。
0:30:16	はい、規制庁、その辺り整理して、
0:30:20	書いてもらえれば。はい。
0:30:24	私からは、私から以上というかその辺、あれですね、今日の話でも大分イメージが合ってるかどうかハヤシで、あまり介護から、
0:30:36	海田を上げず、次、どういう話をするのかっていうのはするようにしたいと思います。
0:30:41	他、規制庁は 19 ページ絡みであればお願いします。

0:30:46	はい。すみません。ごめんなさい、古作です。今の流れでちょっと気になったところ1点、話をしておきたいんですけど。
0:30:56	会話の途中でカミデかったんですけど、今回のその分析っていうのが17ページでは、今、
0:31:04	示してるのは中央とヒガシということですけど、中オオヒガシ西井の三つで分析をしているんですが、
0:31:12	図1でいうと、グループは12だと、いうことになってて、その12、それぞれっていうところにもやっぱり特徴があり得るだろうということをやっている。
0:31:26	中出ゴコウん、中オオニシヒガシというだけにしてしまっているというのがいいのかどうかと。
0:31:34	ということで、昆これまでの議論の中にもその断層があったりなにしたりということがあってというので、昨日のヒアリングでも少し話題になりましたけど、
0:31:44	そういったところをどう考えていくのかっていうのは、②の中で入るってことでいいんですかね。
0:31:52	県の方でございます。はい。今小阪さんお聞きいただいた通りですねQを2ヒガシに分類し切ってこのエザワ検層のデータをやろうというふうには、我々も考えていなくてですね、この
0:32:06	データがそれぞれのグループを補完するような形で取られますので、そういう意味ではこれ、今ですね、データを進捗といいますか、ここまで取れてますということを示す時にこれが、
0:32:19	集約しやすかったんでちょっとこういう示し方にしてしまいましたけども、分析自体は、そのを3グループに分けるということじゃなくて敷地ですね平面的な特性ということを掴みたいという意図での分析をして参るということになるというふうに考えてございます。以上でございます。
0:32:37	はい、わかりましたよろしく申し上げます。以上です。
0:32:41	規制庁淡路です。ちょっと今の話にも関連するんですが19ページの①っていうのは、いわゆる素材が出てきましたよね、02イワマ料理。
0:32:51	をどう作りますかっていうメニュー出してください。
0:32:56	で、ここはある意味非常にポイント、次回の内容としてはポイントになるというふうを考えて、
0:33:02	例えば、先ほど言われたように、地方間、それから、近接する、或いはエリア、或いは深さ岩種、いろんな観点での比較だとか、考察ができるわけで、
0:33:14	それをどうやって料理して、何を作るんですかっていうと、それが見えるような形で、



0:33:20	それを言っていたかかないと。
0:33:22	いっていただきたいので、その先の中身としては例えば 17 ページで、資本間の比較で、先ほど大町さんは山sec歩け結果はこの上には基本的には載らないような説明されたんですけども、
0:33:35	17 ページの結果、例えば檀関後、雑誌ごとに、
0:33:41	見てですね、そこに別に 4 月一定の線を引けば、岩石交通対応のメールは見られるわけですし、それによってそのん等、
0:33:52	岩石化は室内試験との一番、地震観測と後それだとかPS検層の差っているのはこういったところに起因しましたとかですね、そういう考察ができるわけで、
0:34:03	まずメニューを出してもらおう。②のところですねある程度、将来性っていうか先の見越したメニューを出してもらった上でじゃないと、本当に、
0:34:14	今現在は考えている料理の仕方がいいのかどうかっていうのが、我々言えないわけなんですですね。
0:34:22	結論的には 19 ページの②のところ、もう少ししっかり先を考えて、説明をしてもらいたいというふうに思いますんで、現段階決まってないものは決まってないなら決まってないで、
0:34:35	見込みなりですね、でもいいと思いますけれども、
0:34:39	これが近いポイントになってると思います。はい。はい。もう、
0:34:44	よろしいですか。
0:34:45	はい。現実でございますはい、承知いたしました。
0:34:49	規制庁ヶ月私もちよっと聞き逃したんですけど、17 ページがあとちよっとですねっていう。
0:34:55	今あれなんですね。
0:34:59	割と地震観測記録というか検層だけプロットしてますけど、他の材料試験系もう並べられると私は思っていました。
0:35:09	データを並べるっていう時に一つのグラフにプロットしないと他の方法があるんであれば、それでもいいんですけど全部、これと材料試験、別物だっていうよりは、
0:35:20	全部一緒に並べられると思いますから、そこはちよっと勘違いお願いします。
0:35:26	案件の方でございます。データがないという観点では同じようにならないという認識は同じでございます。はい。以上でございます。
0:35:35	はい。
0:35:37	19 ページから見なければ、
0:35:42	本当ですか、検討。

0:35:45	規制庁浜崎です 16 ページのですねこれ前回指摘をしまして、追加検層の
0:35:51	情報についてもう少し詳しく説明してくださいということで対応されたものです。で、ちょっと具体的な話、これ初出なんで、
0:35:59	今までヒアリング等できてないんですね、細かい話になるんですけども、
0:36:03	右上の文章 2 番目の矢羽根のモニター家。
0:36:08	って書いてあるんですけど、これモニター系って具体的には何ですか、入力なことですか、地震、起震車で、
0:36:16	透析、モデル化、アオキ、
0:36:19	ウタダです。
0:36:26	すいませんちょっと温泉見られたらもう一度お願いします。
0:36:30	5 年生、ございます。モリタ半径というのは、起震車で映画課金してる箕野本でございます。
0:36:40	はい。規制庁浜崎です。モニター系と書かれるより今言われたような、表記の方がいいと思いますので修正をお願いします。
0:36:49	それと、あと実際これスイープは軽水吳加振してるわけなんで、12 日 100 通ですよね確か。それを書いてもらいたいというのと、
0:37:03	あと、その出る台風、加振振動数っていうのは幾つなんですか要は 16. 図の 4 のプロットって、
0:37:13	何Hzピッチだな、これを△期間。
0:37:18	手話図だと何Hzピッチになるんですか。
0:37:26	5 年設計のものでございます。
0:37:28	ですね実際には 10Hz から 80Hz までですねスイープかけておりますので、
0:37:35	これを見ますとかなり細かく分かれてるので多分 1 減るIIごとぐらいに今、プロットしてるのじゃないかと思いますが、ちょっとご確認させていただきます。17 から 80 ページで全体は何Hzっていうような表記をしてもらえればと思います。
0:37:52	あと最後なんですけど、図 2 なんですけども、これ、前回の資料等、ハケが変わってきちゃってるんですけども、コリレーションのっていうことで多分、牧野さん。
0:38:03	今ですね、黒の線と青の線が同じ塾長に重なってて、
0:38:11	磯が安定してればなんですけど、
0:38:13	これ何、何と何ですか前はですね 3 成分ずつ、資料としては出てたんですけども、

0:38:20	フォーレーション分にコウアオキごめんなさい、アウトフローは何なんですか。
0:38:27	当然設計のものでございます。これ試験のですね、反転させたものをですね今黒で書いてございます。真ん中に手を打ってございますがこれ速度の相似を求めるのにですね、正確さを図るために、
0:38:42	1回だけ木下や津野に対してですねその判定、遺贈判定したものをですね、書いてございます。
0:38:48	はい。
0:38:49	規制庁浜崎です。わかりました
0:38:56	特にわかりました栗田黒野説明はいいか。
0:39:00	はい。ちょっと、
0:39:03	今回16ページはいいんですけども、補足説明資料ですね。それから、
0:39:08	出てくると思いますが、そこではきちんと説明をしていってください。
0:39:14	いいですか。はい、当然設計のものでございます。はい。耐震建物08の方には詳しく書かせていただきます。はい。私から、小西委員です。
0:39:25	はい。清町の岸野です。
0:39:29	1点だけちょっと11ページに戻りたいんですけども、
0:39:33	ちょっと表現上の話がするものの11ページの文章で、下から二つ目の、
0:39:40	矢羽根の文章の右端を見ますと、
0:39:43	当該速度境界の深さも同定対象としたって書いてあるんですけど、
0:39:49	当該速度境界っていうのが何を指すのかって説明がないように思うんですけども、これは何かどっかで説明がありますか。
0:40:00	はい。日本原燃のオガセでございます。ごめんなさいこれ上から順に読んでいけばというところで、すいません書いていましたが、確かにわかん、すいませんまだわかりにくいですね、言いたかったのは、上のところで書いているところで、
0:40:13	岩盤の傾斜の、11ページの左下の図ですね、のところの水色の線で眺めているところがありますけれども、その敷地じゃないや、地震観測地点よりも西側でちょっと深くなっているっていうんでさらにちょっと東に比べて急傾斜になっているっていうところがあるので、さらに下に層境界があるであろうという
0:40:33	ようなところの話が、上の4ポツ目まで書いておまして、そのところに対応する層境界つまりは、括弧Aに左下の図の階段のVSの図の赤点線が、それに該当いたします。

0:40:47	なので、すいませんこれ一番最後の行に同定結果としては新たに設定した速度境界括弧、図7の赤点線と書いているんですがこれと同じことを言っている。
0:40:58	ので、ちょっとはいそこちょっと言葉そろえとかが必要だなとは思いました。以上です。
0:41:03	清町の岸野です。当該って言うんですけど当該って何だっということなんですね。
0:41:07	で、上の四つの文章を読みとけば、我々理解してるんでわかるんですけど資料上は、全然明確になってないので多分大賀さんが言われたように、こういった地層の傾向を踏まえると、泥岩括弧上部層中に、もう一つ別の速度境界があるであろうと想定していて、
0:41:26	そのの、
0:41:27	それを同定対象としたということなのかなと思いますので、言葉をそろえてもいいですけど当該が何をするのかっていうのを、
0:41:35	ちょっと明確にさせていただければと思いますが、対応可能性ですと、原燃オガセかしくまりました。そういうふうによつとしますデータのそういう地層の傾斜を踏まえて、泥岩の中での総速度層の中に、
0:41:48	新たに速度境界を設定してその深さを同定対象としたとちょっと詳しく書いてあげるようにさせていただきます。以上です。
0:41:55	規制岸岸です。はい。そういうイメージかなと思います。ご検討お願いします。
0:41:59	私から以上です。
0:42:04	後体裁的などところで、
0:42:08	異論を合わせてくださいねっていうので、少し直ってるような気がしますけど、11ページなんかで言うんですね、
0:42:19	例えば、西側地盤に緑点線がありますよね。これが表層の、この場合で、
0:42:28	何なんです。
0:42:30	緑のやつね。
0:42:31	考えたんですか、っていう説明できます。
0:42:35	現状でございます。これ表層地盤内の速度境界としての、識別したつもりになってまして、それは、
0:42:48	例えば東側地盤では、投票しないんですけどもその同定の対象としては、ちょっと新しい色として緑が登場すると、ちょっと何かそんなイメージになってます。
0:42:59	真ん中の中央だと思った緑の点線がありますけども、これは表層地盤内の共通の境界っていう注釈も入っておらず、

0:43:09	一体どういことなんでしょう。まっすぐ
0:43:17	ちょっと整えます。はい。
0:43:19	で、何かその同じ色で、西側だと砂子又層、
0:43:24	表現していたり、
0:43:25	中央だとまた別に、今度、軽石、何とかそうですかね。
0:43:31	ヒガシに行くと、
0:43:33	同じよう、その軽石何とかがありつつ、今度はVsが書いてなくてこれは協会の話をしたいから言えないのかもしれないんですけど、
0:43:43	ちょっとまずきっかけちょっと述べておいた方が、資料としては、外の人が見やすいと思います。そういう程度ですけれども、
0:43:53	プラス、
0:43:54	いうふうに思います。はい。担当。日本原燃のオガセでございます。こちら、すいませんちょっとえっとですね、10 ページのところ、同じような絵をつけておまして 10 ページは地質構造、
0:44:08	地下構造を全体をこう示しておまして、
0:44:11	そのうち、11 ページでは、今回の岩盤のところの物性値をどう同定するにあたっての留意事項というところになるんですけども、10 ページでその西側地盤で表層のところに変な、その表層の中に傾斜傾斜じゃない速度の切りかわりがあるねというところ、五つ 11 ページではそこは特にあの、
0:44:28	議論になってない。あくまで議論になっているのは 11 ページの青点線看板の中の傾いているところという話になっているところでございますので 11 ページでは正直この表層の中の速度境界というところは情報としていらないので、本当は消すべきだったところで申し訳ありません。
0:44:43	ちなみにこの表層の速度境界のところ 10 ページでオレンジの線ですかねで書いているところについては、後のアノ地震干渉法のところに出てくる表層の中での速度境界が西側であるのでちょっとそれが効いているというところで回収される情報でありますので、あくまで 10 ページは残しておく 11 ページでは消すというのが正しい対応だと思いました。申し訳ございません。
0:45:04	ちょっと注釈のいらないも含め、あとは
0:45:08	ページ間で色が違う。
0:45:15	他、規制庁側から、耐震部分がありますか。
0:45:20	日下です。ちょっと細かな話なんですけど、あの状況を説明していただければというのが、
0:45:27	参考でつけられている。
0:45:30	先ほども少し話題に上がった、は系の話なんですけど 59 ページ。

0:45:43	59 ページで、
0:45:47	一番左のR591 以降のデータなんですけど、
0:45:56	これって
0:45:59	深さが 30 メーターぐらいのところ
0:46:02	400mmセク以降、ずっと振動が継続してるようなんですが、
0:46:09	こういうのってどういうふうに解釈すればいいんでしょうか。
0:46:17	し、当然設計のものでございます。
0:46:20	ですねこれはコリレーションをかけたときにですね実際に今、
0:46:25	これ 500 ぐらいですけども 500 ミリ秒ぐらいですけども、2 秒ぐらいまでコリレーションの結果をですね書いてございまして、
0:46:36	こういうふうな振動がナカノ、多分クリエーションかける時のですね関数形で、こういうのが出てくるんだと思いますけども実際に使うのがですね、
0:46:47	この最初の信号からですね、200 マイクロぐらいまで、200mm秒間ぐらいまでのところしか使わないというふうな話は聞いてございます。ちょっと、
0:46:59	この辺もですね、簡素空車の方にですねちょっと確認をさせていただきたいと思います。
0:47:06	はい。コサクですよろしく申し上げます。確かに、実際に使うのはその範囲だろうなどは形を見ても思うんですけど、あの後に余計なのが入っているとそもそものコリレーションが正しいのかというような気もしてきちゃうんで、
0:47:20	整理をしておいてください。以上です。
0:47:23	はい、藤堂関野でございます。承知いたしました。
0:47:29	規制庁カミデそれでは、
0:47:33	耐震は以上。
0:47:35	次の構造設計、
0:47:39	はい、宮城西田でございます。60 ページからになります。まず、
0:47:45	的にですね前回のやりとりを私がちょっと解釈うまく取れなくて、失敗した点がありまして今文章で説明が 69 ページから始まってんですが、
0:47:56	これMOXのことを舞台に語ってます。そもそも多分 60 ページからのスタートで、
0:48:02	最初に廃棄物も含めた全体としてのその活動とか進んでる状況ですね、どういうふうなことをやってるのかと、いうことを説明した上で、61 ページからMOXの話を始めると。
0:48:16	ということで繋ぎをしないと駄目かなと思ってます。でないと 69 ページじゃないな。

0:48:22	最後の今後の進め方は最初に廃棄物も含めて全体の話語ってますので、そこの関係で頭で全体を語るということが抜けてましたので、ここは修正を、
0:48:33	争議させていただいて次出すときには反映したいと思います。
0:48:38	また修正した箇所、ポイントを説明しますが61ページ、これシステム設計とかいろんなものが追加になってますんで最新の状況を反映したんですがこれはすいません私のミスです。
0:48:51	61ページのグローブボックスのところ、システム設計構造設計配置設計の順番なってますが、システム設計配置設計構造設計という順番に直すと忘れてましてこれは修正をさせていただきます。
0:49:03	ここでしょ条文の話を太線下カセ太字下線で示しているのと、
0:49:08	あとは63ページこれ就職前を一緒にあったんですが、ここで言う、64ページにある戸塚線が1、※1となっていて、1ポツの話も、
0:49:21	含めてやらないといけない条文と、
0:49:24	いうことを示してます。この先ほどの資料分と、64ページでユフとフジイ下線のものの条文が61ページ、65ページ以降のシートとしてついている条文になっていると。
0:49:38	いうこと。
0:49:39	でございます。
0:49:42	はい。
0:49:44	ということでその辺の関係性を示したということとあとは69ページが、前回踏まえてMACCSでの、前回の審査会合を受けて、
0:49:57	どういことを具体的にやってこの69ページでいう下の、
0:50:03	①から⑤ということを導き出したのかということとどこの部分に対して、何を手当したのかということ、六、七10ページ以降に具体を展開していくと。
0:50:13	いう形で修正をしました。
0:50:15	いうことでございます。
0:50:17	70ページ以降は①から⑤までそれぞれ書いているんですが、基本のやり方は、70ページにあるようにまず全体の関係、
0:50:28	SPARKLEを並べて、
0:50:30	それぞれ、
0:50:31	どこのページに飛ばして具体を説明しているかという関係がわかるように全体をまず書いた上で、71ページから70頁、
0:50:40	4ページですかね、或いはそれぞれのパーツを具体的にどこをどう考えてるのかと、いうことがわかるように展開をしているという流れでございます。これが①から、従事同じように展開をさせていただいていると。

0:50:53	いうこと。
0:50:55	75 ページ以降も同じようにやってるんですがこれすみません、完全なポカミスでして 75 ページに、7718 と書いてある参照元の図なんです、これ後についてずっと
0:51:07	古くてですね、あの子の改訂部分ちゃんと合わせて修正をさせていただきます。
0:51:13	はい。で、あとは、
0:51:20	ですね今最新前回の審査会合資料という共通時のヒアリングでのやりとりも踏まえた最新の状況で直せる範囲は今、修正をしてはってます。
0:51:32	例えばですけど 77 ページの図ですとか、78 ページの図、これは前回の事業場のヒアリングを踏まえた修正を行ったバツということになってます。
0:51:43	はい。できてないところについては、上にですね、右上に、7 月 16 日に、
0:51:53	修正の共通順位を出しますその時に合わせて差し替えますというのが、例えば 92 ページですね、その右上何かニワということが書かせていただいていますこれ
0:52:04	まだ追いついてませんので差し替え予定ということでございます。
0:52:08	はい。そういうような修正を加えたという
0:52:15	はい。あとはちょっと資料の中での整合という意味では、ちょっと書き方を間違えたという部分が 87 ページ。
0:52:25	ここでいきなり資料 4 との紐付けを追加というのが右下に吹き出しで出てきます。このうち今回の審査会合資料で資料 4 の話一切触れてませんので、
0:52:34	ここは 2-2 の解析評価との紐付けを追加という一行関係性を見せ見せるようにしますというような形で、文言の修正をさせていただきたいと思います。
0:52:45	はい。
0:52:49	全体としては 688 ページのところ項目として、④番を追加してますんで、設計説明分類間での取り合いがあるところの示し方と、
0:53:01	ということで、搬送設備等、貯蔵設備の間の取り合い、
0:53:07	いうところまで今回搬送設備を説明する際に合わせて、その取り合い部分についても、設計の説明をすると、事例の設計の整合性を示していくというポイントで、
0:53:18	8889 ということで追加を 90 万です。
0:53:22	追加をさせていただいています。
0:53:26	はい。



0:53:27	あとは、一番最後 94 ページ。
0:53:31	4 ページで、今後の説明ということで、再処理の部分最初に廃棄物管理先ほど頭にはこれまでやってきた、最初に廃棄物も含めた全体の進め方、
0:53:43	どういう状況なのかということをご説明しますが、今後の説明として、
0:53:47	最初に廃棄物管理施設の説明グループ 1 に係る構造設計の説明を行っていくと、その際の着眼点としては、
0:53:57	再処理とMOXを比較して違うポイントがあるというところはこの矢印で書かさせていただいています。
0:54:04	一つ目
0:54:07	あれですね設計条件の変更とか追加に係る観点に着目して設計説明分類とカセとか説明グループの設定をやるということと、具体の設備の設計についてもそういうポイントに、
0:54:19	を考えて、説明をしていくということで今準備を進めてますということ。
0:54:24	あとは当然説明グループ順番にやっていきますんで、それぞれに課題は、整理をしていくということになるんですが、
0:54:34	例えば説明グループ一井のときに説明グループに今後説明する溢水みたいなものでも、個別的な個別のよ、技術的な案件があればですねそれも合わせてある。
0:54:46	テーブル載せさせていただいて説明をさせていただくと、という潰し込みをしていくということも、並行してできないかという点で今、二つ目の矢印を書いているということでございます。
0:55:00	はい。変更点のご説明以上でございます。
0:55:05	はい、それでは規制庁。
0:55:10	規制庁の荒井です。60 ページ目からが、行動設計等の話で、
0:55:16	これは再処理の話をさっき入れるって話がありましたけども、ポツをふやすってイメージなんですかね。
0:55:25	そうですね。どうしよう。
0:55:27	60 ページの次に全体の説明をするのでそれが今のポツの、よくページでMOXの説明では多分、
0:55:35	ひもづかないので、そういう意味では全体の構造設計等の説明としての
0:55:41	進捗状況ですかね、そういうポツをまず挙げて、
0:55:45	その上でその中のMOXの話を、二つ目のポツで書いて、今で言う、
0:55:51	61 ページですかね、のところに繋げていくことだと思いますはい。だから 60 ページと 61 ページの間に、またちょっとバッファみたいと思って、そこで、
0:56:02	展開していくっていう、

0:56:04	理解しました。はい。それであと 61 ページ目から、60。
0:56:10	4 ページ目まで、
0:56:13	については、になっているんですけども、
0:56:19	63 ページ目以降の図では、
0:56:23	市場部であり、かつ、1 ポツがあるっていうところでちょっと差分があるので、
0:56:29	あと 64 ページ目の右上の枠囲みのやつは 63 ページ目のところにも入れといた方がいいのではないかと。
0:56:39	はい。
0:56:39	思っています。
0:56:48	太字＋下線かつ、
0:56:50	1 ポツの説明対象がある条文っていうのは、
0:56:54	それで、63 ページ目の 10 条は、はい。
0:56:59	太字河成にしないと。
0:57:02	はい。
0:57:17	あとは、64 ページ。
0:57:20	目を見ると、
0:57:22	1 ポツのところ※1 と※2 って書いてありますよね。はい。
0:57:26	この※1 の説明っていうのは、63 ページ目の臨界のところ書いてあるものと同じなんですか。はい。
0:57:36	はい。
0:57:37	そういう意味なんですね、前回からこうなってます。
0:57:45	わかりづらいですね。そうそうそう、小村の記載がちょっとわかりました。わかりやすいですけど、記載をどっかで欄外に書いて、共通的に読めるようにするかちょっと考えて、はい。はい。
0:57:58	あとは図が、
0:58:01	最新のコアっていないっていう話が、70、
0:58:05	はい。
0:58:07	2 ページ目に、敗訴は直していただきたいんですけど、
0:58:10	77 ページと 78 ページ目で、
0:58:16	ヒアリング等踏まえて、赤字を、今回の申請対象設備の関係するところなんですっていうところで、
0:58:23	明示していただいていると思っていて、
0:58:27	それで 77 ページでいうと 78 ページ目でちょっと違うのが、78 ページ目を見ると、
0:58:35	設備っていう書き方ではなくて、少し運用チックな話があるので、ちょっと 78 ページ目の赤字の凡例のところは、

0:58:45	申請対象設備いいのであって申請対象設備に、
0:58:50	関連する工程とかそういう名前にしないと差分が取れないなと思ってます。
0:58:55	あとは 77 と 78 ページ目で、2 次混合の話があるんですけど、78 ページ メキ均一化混合という言葉になってるんですよ。
0:59:06	ないか、違いがあるんでしたっけっていうところ。
0:59:11	はい。
0:59:14	そうですね設備区分と、
0:59:17	アニメーションでよくはい。ちょっとそこは整合とれるように工夫をさせていただきます。はい。
0:59:27	はい。
0:59:31	あとはですね、
0:59:33	ちょっとページ飛んでしまうんですけど 89 ページ目で、他からも後であるかもしれないんですけど、
0:59:41	搬送設備と貯蔵設備の取り合いのところ、貯蔵設備側の落下防止も、
0:59:48	今回グループ 1 で説明するっていうことを言ってるっていう理解でいいんですよ。はい。はい。はい。そうすると、先ほどの、
0:59:57	前段の 62 ページ目とか、
1:00:04	64 ページ目って、その関係性っていうのは示さなくていいですかね。
1:00:19	はい。
1:00:20	突貫ます。はい。今のところ機械は、機械設備、機械装置搬送設備には落下防止等の構造設計を示すって書いているので、
1:00:31	タダノラックピットタナカについてはその辺が言及されていないっていうところでちょっと
1:00:37	後ろのページと整合しないっていうところかなと思っています。
1:00:43	あと、64 ページ目も同じようなイメージで、
1:00:49	落下転倒防止等っていうのが 16 条だけになって、
1:00:55	17 条が
1:00:57	貯蔵施設の話っていうのは、
1:01:00	関係性を示すとか、そういう話を書いてあったので、リンクづけをしていただければいいのかなと思っています。
1:01:19	あとは、気になった点は 86 ページ目で、評価をしますっていう話が、
1:01:29	有井四角の一番上の青囲みのところで、
1:01:33	ちょっと日本語の意味がわからない、システム構成によって達成する設備には、ついては、書いてありますけど、

1:01:40	システム構成によって、何をっていうところがなくて、性能と根拠となる仕様を達成するっていうのは、ちゃんと書いといた方がいいのかなというふうに思いました。
1:02:06	あと 94 ページ目でこれは全体的な話なんですけど、
1:02:13	再処理の
1:02:15	展開今後どう説明していくかっていうところで、最初の、2 番目の丸の最初の矢印の記載のところなんですけども、
1:02:27	ダイゴでも、
1:02:29	どうかなと思ってるんですけども、やっぱりMOXでの整理を参考にし て、作業上工夫している点っていうところは何かってのが、
1:02:39	あればいいかなとは思いますが、
1:02:41	申請対象となる設備数が多くっていうところで、これは事実そうな るところなんですけどもそれを踏まえて、
1:02:50	どうするかっていうところが、
1:02:55	ほぼほぼ、
1:02:56	うん、抱えてそのあとの事実関係なんですよね設計条件の追加と変更 が多いってこのこれに着目するっていうのは多分当然の話なので、
1:03:07	多分設計説明分類の切り方とか、
1:03:11	そういったところを見て多分今やってるSABの整理の話とかも、
1:03:17	多分MOXでは、今BBC火報担当単独で出てなくて、SAっていうの を、プラスアルファで考慮しているって話を、
1:03:26	あるのかなあとは思っているんで、そこら辺の工夫について何か、聞け ればいいかなと思っていました。
1:03:34	はい、西田でございます。
1:03:37	90 ページ。はい。
1:03:42	私からは以上です。
1:03:46	規制庁の岡です。それちょっと、今アライがバッドをしていたところ ですが、
1:03:52	先ほど、あれからあった 60、
1:03:58	3 ページ目、64 ページ目の太線、太字プラス下線。
1:04:03	第 2 回審査委員会 1 ポツの説明対象となる条文これを、
1:04:07	63 ページ目にも追加するっていうそういう
1:04:10	話だったんですが、ちょっと再確認ですみません。はい、そういうやりと りだったと。
1:04:16	うん。63 ページの方でこれに該当するものってどれなんでしょうか。
1:04:23	まず、

1:04:26	ごめんなさいそれでいくと、62 ページとか 60 ページっていう種条文の話も、
1:04:32	太字プラス下線でないと駄目なのでそれを、
1:04:36	ジョイントした形のものが 6364 になるとすると、10 条の閉じ込めが終了分という意味では、アノ太と耳下腺になると。
1:04:45	ということで認識をしてました。はい。
1:04:48	はい、規制庁課長わかりました。で、そのあとの 64 ページの説明で、次のページからの 65 ページからのところを、
1:04:57	どういう意図でこれを張ってるかっていうのを、下の方に追加したと思うんですが、廃棄が今なくてですね。はい。
1:05:07	率直で、これそもそも廃棄って何でなかったんでしたっけっていうところも、
1:05:14	ちょっとすみません至急、
1:05:16	アノが何でなくていいかを考えるよう、作らないといけないような気がするので、作ります。はい。
1:05:22	はい、規制庁からです。
1:05:25	で、一応 60、
1:05:27	5 ページ目以降のこの、
1:05:29	表を使って、後もいろいろな設備が出てきたらどの条文のここまで説明しましたっていうのを、進捗をあらわすということで、
1:05:39	これずっとはってききましたけど、6364 が、その代わりになるようなことを今は、この共通 12 を使った説明体系で、審査会合ごとに、はい。
1:05:51	ここで進捗が大分わかるようになってきているので、
1:05:54	こんな前面につけなくてもいいかなとは思ってるんですが、
1:05:59	いかがですか。
1:06:01	はい。以上でございます。はい。おっしゃっていただいたように当初は、そうですね、64、5 ページか、以降のやつを、条文ごとにつけていってこれがどんだん右側にいって、
1:06:14	説明済みになっていくと。
1:06:16	姿を見せたいなということで、つけてましたけど 6364 言ってみればその代わりになり得るような情報が付加された形では、説明のポイントも書いてあるので、それでは許可でそれを入れ替えるのはありだと思いますはい。
1:06:32	はい、規制庁プラス外すっていうのも何か初めに宣言したっていうのもあるので、最後の方に
1:06:40	参考 2 の後ろの方につけるとか、そういう運用でもいいかなと思います。その時には廃棄も今回はつけてもらった方が、

1:06:48	いいんじゃないかなと思いますが、
1:06:51	省く理由があればV結構ですか。
1:06:56	おかしい。
1:07:00	はい。と先ほど、
1:07:03	上がった搬送貯蔵の取り合いの件今回明確にさせていただいて、今日辻井の方で議論してきたところだとは思っていて、ここも結局先ほどのアライの話で、
1:07:15	所蔵側の落下防止をある程度説明、こっちでやることによってグループさんでは貯蔵状態を確認しますと、ということだとは思いますが、
1:07:26	先ほどの議論に基づいてそのグループ1に、
1:07:31	貯蔵の貯蔵の落下防止みたいなのを追加するっていうことなんですか。それともう1個ある。そうですね。すいません先ほどの話でどうするかまで答えてなかったんですけど私のイメージとしては60例えば62ページのところに、
1:07:45	この機械装置搬送設備の落下防止とかの説明のところで、
1:07:51	そのとりあえずあるラックピット谷川の落下防止についてもあわせて、ここで説明しますということを書くことかなと思ってました。はい。
1:07:58	はい、規制庁からそこまでしてくれるんでしたら、はい。特に異論出なくなるかなと思いますので、よろしく願いまして、
1:08:07	88ページ目からのところなんですが、
1:08:11	共通12の方の議論でもちょっとあったんですが、
1:08:15	搬送設備のパレットこう持ってく棒が、
1:08:21	下の方に抜ける。
1:08:22	ところ、多分空間が入っていると。
1:08:26	思うんですが、そこが、
1:08:29	もう少しわかるようになんないかなっていう、今、細かい指導してもらって、上から見たやつをつけられないかなというふうには考えてます。はい。
1:08:38	はい。室長から何か、我々の説明聞いてわかってはいるんですが
1:08:44	一般の方向けの資料でもあるので、そういうちょっと配慮はしてもらった方がいいかなと思った次第です。
1:08:52	はい。上から見た図をつければ、要するにあるガイドピンガイドピンじゃねえや。
1:08:57	落下防止金具ですかね、その間の隙間は今、
1:09:03	上から差し込んで引いていくパレットを乗せてる呉ババですアノBoard板ですか、それよりも、

1:09:11	紡糸からフローが広がってその隙間をコウ抜けていくっていうのがイメージがわかるかなと思うんで、はい。そこは工夫します。
1:09:18	はい。それではハヤシあと先ほど 94 ページ目、矢印一つ目は先ほどの説明でわかったんですが、矢印二つ目が、これ具体的に介護でどんなことを議論仕事されてるのかちょっと、もう少し具体的なイメージをお願いします。
1:09:35	はい、姫野イシダでございます。まず一つはですね正直、この会合で何か今やるということは、具体のものが宣言できるほどの状態になってないと思ってまして、
1:09:46	実際はヒアリングで多分事実確認をさせていただいて、これは仮会合でやる案件かなとかっていうやりとりなのかなと思います。なので、いきなりこれを書いて、
1:09:58	こういうことやりたいんですっていう状態ではちょっと今ないかなと思ったらこういう。
1:10:04	パスもですね、
1:10:08	取っておきたいなというふうに思っているという意思表示を、今、思って書いたということでございます。
1:10:14	はい、規制庁カサオカアリマした特に何か今具体的にあるっていうことではなくてっていう、
1:10:21	ことは認識しましたがちょっとわかり、
1:10:23	づらいのかなとそういう意味では表現が、
1:10:26	何をこう説明。
1:10:30	していききたいのかなっていうのが、一つ目のほうも先ほど少し議論があったんでその二つ目の方がよりちょっとわかりづらいな、はい。します。はい。はい。ありがとうございます。はい。
1:10:43	一つ目二つ目矢印とも一つ目は先ほど、
1:10:46	荒井さんからおっしゃっていただいてファクトが書いてあるだけで何を再処理の場合、
1:10:52	工夫しなきゃいけない点なのかみたいのが具体的にわかるような、かつそれを今、ドイ間やってる様子がわかるように、
1:10:59	していくと、いうことと二つ目はおっしゃっていただいて、具体的に何をしたいのかがわかるような日本語にしないと意味がないのでそこも工夫しますはい。
1:11:09	はい。社長よろしく申し上げます。あとさ、元おっしゃってましたがごめんなさい、古作です。今のところ私もよくわからないので、
1:11:20	ちょっと話をしたいんですけど。
1:11:23	まず一つ目の矢印わあ、これまでも話していたはずであって、

1:11:29	ボックスは
1:11:32	分割であって設備というところに主眼を置いて、その設備について網羅的に説明をしていこうと。
1:11:43	ということなのに対して再処理については1隻に現状なっていて、一方で説明内容とすると、設備ごとというよりは、内容、
1:11:55	として条文ごとの感じですけど、瀬グループ1においては外部衝撃に対する防護っていうのを、
1:12:05	各設備について説明すべきものをまとめて説明しますよと。
1:12:09	ということなので、有井でそうすると一その設備に対するせ、説明が網羅的にならないと。
1:12:17	ということから、節、対応する、説明すべき項目ということに対して、どこまで説明するのか、残りの部分はいつ説明するのが合理的なのかということをもとめて、
1:12:31	その上で説明をしていきますということだったと思うんですけど。
1:12:36	この文章からそれは読み解けないんですけど、なんでこんな文章になってるんですかね。
1:12:45	はい、日本イシハラでございます。はい。はい。
1:12:53	書いた私の文章になったのかもしれませんが、いつものことで、はい。おっしゃっていただいたこと言ってることは今まで言ってきたことをそのまま同じように言いたいだけなので、はい。そこは、
1:13:04	文章考えます。はい。
1:13:07	はい、長田です。あれですよ結局説明すべき項目を網羅的にしてそれをうまく表現していく作業は今進んでますっていう。はい。
1:13:18	ということと、それを踏まえた資料3の準備を進めてます。それはそういうことですよね。はい。
1:13:26	はい。コサクです。それが読み解けるようにしといてもらえればと思います。二つ目の矢印については、これもよくわからなくて具体も示してなくて、
1:13:37	でも言いたっていうのは何なのかよくわからなくてですね、だったら累計なんてやめろよみたいな感じになっちゃうんですけど。
1:13:45	何なんですかね。
1:13:50	はい。弓削イシダでございますそうですねはい。うん。
1:13:56	類型指定グループを挙げて、かつそのやりとり線引きもちゃんと明確にして、合理的に説明していくって言うことと確実に逆行するのは理解をしています。
1:14:08	一方



1:14:11	個別の話は全く今できてないので、課題があるって何が課題なんだよっていうところ、全く示せてないところで、これを変えたところで、あなたたちは一体何したいんだっていうところは、もうまさしくおっしゃっていただいている通りだと思うので、
1:14:26	書く書かないも含めて、何をどうしていきたいのかっていうのを書くのであれば具体的に、ちゃんと何をしたいかが石内ができることっていうのが、多分当然ながら条件だと思うので、
1:14:38	そこも含めて考えます。はい。
1:14:42	コサクです。
1:14:44	聞く耳を持たないことは全くないんですけど、
1:14:48	何が言いたいのかを言ってくれナイトウ議論が始まらないんですよ。
1:14:54	で、累計でやりたくない理由があるんだったらそれも言ってもらったらいんですけど、累計でやる中で議論すりゃいいじゃんっていうことでしかないような気がするんですよ。
1:15:06	あとはそのグループ 123 と言われましたけど、必ずしもシリーズでやる必要はなくて、部分的に並行してやってもいいよという話をしてる一と思ってるんですけど。
1:15:19	そうだとすれば、早めに着手していけばいいだけの話だと思ってるんですけど、何か不都合あるんですか。
1:15:28	弓削西田でございます。
1:15:31	そういう意味では、おっしゃっていただいてこの間もグループ 2、並行してやっていかないとねっていうところもおっしゃっていただいているので、我々の現状、特に不都合なこともないと思ってます。はい。
1:15:46	はい。補足です。であれば、そういうように進めますみたいなことを言えばいいんじゃないですか。
1:15:52	はい。
1:15:56	日本原燃植草のおっしゃっていただいた通りだと思ってまして累計の成立を進める上で必要な相談は早めにかけるというそれだけの話ですのでちょっと記載がちょっと誤解を生むような内容ありましたので、少し見直したいと思います。はい。以上です。
1:16:13	はい、佐藤です。状況を伺いました。的確に進むようにお話をさせていただければと思います。
1:16:30	大川さんどうぞ。
1:16:33	はい、規制庁岡です。あと 94 ページ目んで、今後再処理の話をするっていう時に少し具体的に示すっていうことを、
1:16:43	でしたが、次、この資料に関しては、他の方はもしなければその辺の話をしたいんですがいかがでしょうか。

1:16:57	ちょっとその辺の話をここを使っていく、少し伺いたいんですが。
1:17:02	まず 12 月にかけるものっていうのは、ここに書かれた再処理の設計説明分類説明グループ前回の打ち返しでちゃんとしたものを出しますと、
1:17:13	まずそういうことなんですよ。はい。弓削ニシダでございますはい。おっしゃっていただけるように思ってますはい。
1:17:19	はい、規制庁河津 それ先週ぐらいからずっと言っていたどうやって進めていくのかっていうところの辺りは少し整理つきましたでしょうか。
1:17:29	はい。与儀ニシダでございます。はい。スケジュール、今日お出して金曜日かなのヒアリングと思ってますが整理としては、
1:17:41	大枠の考え方は、アノで聞いてきました。はい。
1:17:46	はい。その概要ぐらいは、
1:17:51	説明していただければなと思うんです。基本これ一つは、説明グループ呉を跨いだりするものだったり、
1:18:01	いうところで、網羅性とか抜け漏れがないことということ、あとそれぞれの説明グループの中でも、大枠、説明しないといけないポイント説明すべき事項という項目と、
1:18:16	あれに
1:18:18	大きな抜けがないというところの枠の決めにちゃんとしないと説明グループでそれぞれ何を説明するかが決まらなと。
1:18:27	いうふうに思ってますので、そのそれぞれのレベルっていうかそこをターゲットに、採用していこうと。
1:18:35	いうと、まず今DBの設計項目の整理とかSAの紐付けてやっている通り、
1:18:42	DBとSAの要求事項が絡む部分というのがまず、説明グループを跨いでかついろんな説明グループでどういうことを説明するかっていうのが、網羅的に抜け漏れがないようになってやらなきゃいけない一つのポイントかなと思ってますので、そこを、
1:18:57	ターゲットに今進めてる作業をやっていくということと、それ以外の条文っていうのも、やらないといけないと言いながらも今の、すでに各条の 0 資料の別紙 2 はありますので、それをもとに、
1:19:12	各基本設計方針でのせ、関係する設計説明分類と、
1:19:17	どの説明グループで説明する設計項目なるのかということの、条文単位での整理をして、それを全体のボックスにはめ込んでいくという作業ができればなというふうに思ってます。
1:19:31	はい。そういう状態です。足すくうとしては挙げられていただいている感じなんかなと思うんですが、やっぱり結構膨大例でそれをどういうふうに具体的に進めていくかということが一番気になっている。

1:19:44	ところなので、今日提出される資料そ、
1:19:48	オカあと金曜日に議論する資料なんかも、その辺がわかるようにやっぱりしていただきたいと思っていますので、例えば
1:19:58	気になってるのはDBの設計説明、要求整理とかは、何だかんだ大体からやってきてるところもあって、いろいろ認識合わせなんかできてるんですが、
1:20:11	新しく出てきているような部分特にSAの、今までの表現なんかがこうずっと議論されているようなところですが、その辺を明確にしていく上で、
1:20:22	どうしてもその人の数、作業者の数とかですね、その辺、選択と集中して少し、
1:20:28	具体的に進めていっていただいた方がいいと思いますので、そういう体制とかも、少し強化する話とか、
1:20:37	そういうもしそういうのが、そういう配慮があればそういうのを説明していただきたいんですがいかがですか。
1:20:42	はい、西田でございますはい。やはりボリュームも当然今回整理をしながら明確になってますので、そのボリュームをやらなきゃいけないスケジュール感との関係で、体制を考えると、
1:20:56	いうことも含めて金曜日お話ができるように、少なくともその前には、そういうことをやって、作業に着手して進めていくことを考えなきゃいけないので、お話できるようにさせていただきます。
1:21:11	はい。規制庁側です。その観点で、規制庁側から何かありましたらお願いします。
1:21:20	規制庁ならいいですけど、実際のSM性言って、
1:21:24	今いつも
1:21:25	その都度、資料が提出されて、またやり直したいのが続いている、
1:21:32	やっぱり担当者が作ってちょっとそのまま出てくるようなイメージはしているんですけども、
1:21:39	今までのやり方を工夫したりとか改めたりとかっていうのはやっぱりあるんですか。
1:21:46	はい、西田でございます。そうですね。そこが体制という意味で一番考えなきゃいけないところだと思って。
1:21:57	正直
1:21:59	体制的には、あまりちゃんとピラミッドになってない。
1:22:03	状況。これこれが一番主でやらなきゃいけないことなんで、そこに人をつぎ込むという

1:22:11	正直アノセガワ作業者になって、その下にも本当は取材をする人がいてセガワがチェックして、タカダ一番最初私が多分オーバーオールにこういうことをやるんだよっていう会をセガワとやった上で、
1:22:25	江川が指示をして作ってきたものが上がってきて、南海創化で見て、提出をするという流れにしなきゃいけないところがほぼ一対一バックなくなっちゃうっていうところを、
1:22:35	あの人も含めて考えなきゃいけないっていうところは正直思っております。はい。
1:22:39	はい。
1:22:40	その体制の工夫なんかも、後で金曜日の時点で具体的に、こうしたいっていうのがあれば説明いただければいいかなとは思っていて、何に注力するかという仕事をする場合が、劇的に変わるんであれば優先順位ちゃんと、
1:22:56	決めた方がいいかなともお互い、同じことは思って、はい。
1:23:07	です。どうぞ。ごめんなさい。あとコサクですけども、今言っていたいた通りだと思っておりますのでよろしくお願いしますということと、
1:23:17	スケジュールで見ても、なかなか
1:23:21	これまでまとめきれていないからだと思うんですが、ずーっと要求事項の整理を進め、
1:23:28	進めていくとかずっと続けていくっていうような感じに見えてて、
1:23:33	いつ、どこまでの形にしたいかっていうことがわかりにくいのでその、
1:23:40	就職するようにですね、どう進めていくのかということの考えをまた金曜日聞かせてもらえればなと思ってます。
1:23:49	並行して、
1:23:53	再処理グループー井農共通 12 の資料の進捗ということも確認させていただく形になっていてですね。
1:24:03	並行してやっていく中でBrush、
1:24:08	できたところから反映してってブラッシュアップしていくということでもいいと思うんですけど。
1:24:14	その点もどうやっていくのかっていうのが、
1:24:18	分かればなと思ってますけど現時点での考えていうのをお聞かせいただいてもいいですか。
1:24:24	はい。人間のイシダでございます。はい。していたようにまず今日お出しをする資料、まず私も前回、
1:24:34	ヒアリング終わったとお話を、を関係者にしたのが、

1:24:39	何とかの整理をしますっていうのばかり確かに書いててその整理がどういうステップで、最終的に説明グループんとかの説明設定に繋がっていくのかっていうのが、
1:24:51	全くわからんまま個別のやつを一生懸命、示してるみたいになっていうところは、まず全体像をちゃんと書きましょうと。
1:24:58	どういうステップで、どういうアウトプットを作っていくつないでいくと、最終的に説明グループの説明、設定からに繋がるのかと、どういうところが問題として解消されていくのかっていうところの関係性がちゃんとわかるようにしましょう。
1:25:14	いうこと。それを、金曜日には、ご説明ができるようにしたいなというふうには思ってます。
1:25:20	まず共通 12 に反映をするというもうおっしゃる通り見直しを今、11 月末に、
1:25:29	提出をしたものとはが、まずどんなステータスでっていうのは、正直 D のところを代表としながら説明をしていくというところで大分傾聴しているところがあって、
1:25:41	SA との取りやりとりとかですね、末の大電力設備と DB の代表みたい等絡めていくかみたいのところまで、ケアがうまくできてないところはまさしくこの作業を今並行してやってるからっていうところだと思ってます。
1:25:55	それをどのタイミングでどういうふうに反映していくかっていうのも、ちゃんとお示しをしないといけないと思ってますので、そういったことを具体、具体化とか具現化して、見える化して、
1:26:06	金曜日、お話ができればなというふうに思ってますはい。
1:26:13	はい、古作です。よろしくお願いします。
1:26:16	君に
1:26:18	まず、
1:26:20	12 月の会合に向けてはですね、グループ 呉ごとの説明範囲ということを明確にさせていただかなきゃいけないと。
1:26:29	いうこと。
1:26:31	それはすべての入口になるので、それは優先事項なんですけど、並行してグループ 一井の説明も具体にしていかなきゃいけないということなので
1:26:44	それもしっかりやっていくと、グループ 2 以降については
1:26:49	やりながら、今のその優先するものに影響を与えないように進められるかどうかというところぐらいを押さえておいてその後設置化していくということかなあというふうに思いますので、

1:27:06	要求事項の整理の進め方といったところを具体的にしてもらえればいいんじゃないかなと思ってます。よろしくお願いします。
1:27:14	はい。
1:27:22	成長オカです。本資料構造設計等の方もしおかなければ、カミデサノカシマ
1:27:30	はい。
1:27:33	置かなければ、
1:27:35	他の振り返ります。
1:27:40	それでは、大勢のパートからですけれども、いただきましたところで、
1:27:47	11 ページのところですね、国旗卵巣外国へ当該というふうなところも、ちょっと記載を見させていただきます。それから色はアノキシノちょっと整えたいと思います。
1:27:57	16 ページですけれども、こういった形で書いてるところこれ起震車によるは形というようなことで記載を適正化いたします。それから水分周波数とで全部追記をいたします。
1:28:09	これ以上はつきり磯藩っていうのは小黒ですねこれ私たちも 08 の方で、
1:28:16	やってください。
1:28:18	本日ご議論いただいた添付定義の議題の説明内容のところですけども、まずこれ①②③の各ステップでやることをCATコウ我々の中でも、あとはそれで整理して、それを表現する記載とすることと、
1:28:34	有効だと、理解してございます。特に②については、データをすべて出してきて上のDたんが、どういう意味合いがあるかというところまで、ちょっと書き切ると。それがどういう着目点にあるかということ、
1:28:50	この中で、説明するんであるということが表現できるように、ここは見直したいというふうにご考えてございます。
1:28:57	で、その次回以降の説明内容のところ、コウノ次のところですね、この②でやると言っていた最終的な結果も、この中で示すことであるということが抜けないように、と記載したいというふうにご考えてござい。
1:29:16	それから、最後の方のですね 59 ページの最後のフォリエーション派遣のところ、少し時間遅れの出たところで、何かでいただいているというふうにごちょっとここは技術関係を確認させていただくというところでございます。以上です。
1:29:33	耐震部分はそんな感じ。
1:29:40	はい。

1:29:43	設備の構造設計ですけども、まず 60 ところは、本当に一つのミックスの話書いてますけども、全体の進捗の話を説明するという項目出しをさせていただいた上で、
1:29:56	6 次の次のページで最後に廃棄物も含めて全体今までやっていく。
1:30:01	冒頭今後の流れの進め方に繋がるような、
1:30:06	実施状況というのを説明をさせていた。
1:30:09	追加します。
1:30:11	はい。61 ページについて市条文の関連のところは 63 ページ 4 ページのところにも反映して整理していく。
1:30:20	あと、65 ページからの条文ごとのやつは一応多数のところ自体は、後に、
1:30:28	いうことで提示をさせていただい
1:30:32	はい。
1:30:36	搬送だそうなんですな。
1:30:38	62 ページエンドウの機械装置搬送設備のところ、トラックと谷川の落下防止のところのとりあえずそこも含めて説明をします。
1:30:52	はい。
1:30:53	ございます。はい。
1:30:57	70、70、70、78 は、それぞれ書いてる。
1:31:03	ポイントとかも設備名称だったり、名前が違うので、誤解がないように、一対一にちゃんと水聞くような関係というのも含めて、ぜひ、
1:31:15	あとは、90、
1:31:20	89 名の 8 時間ラップミナガワに行った時の、
1:31:29	ガイドピンじゃねえな。
1:31:32	下についてのインターですね、とあと落下防止者の数との関係がわかるような、上から見たような図カセ
1:31:40	いうことで整理したいと思います。はい。
1:31:43	あとは、の 94 ページのところは、再処理のところの矢印二つは、まずそもそも何を書くかちゃんと、
1:31:53	もっと具体的な、一つは最初に廃棄物、木製やってきた上での最初に廃棄物に展開するときのブースにポイントだったり今やってることの様というのがわかるように、
1:32:04	具体性を持たせる。
1:32:06	というのとあとは最初にも廃棄物の説明グループだったり、信田猪瀬設計の説明の仕方というところのポイントになるところを具体的に説明をしていく。
1:32:19	ところあと二つ目の矢印は、どちらかというと

1:32:25	説明グループ間の関係性だったりっていう、整理しつつ紐づけもしながら、カトウ、
1:32:32	並行しないですねいろんな準備をしていくということを状況、今後の進め方がわかるように、整理をして書き方を工夫したいと思います。はい。
1:32:45	あとは、途中であった、金曜日のヒアリングに向けては、ちゃんと整理して説明しております。はい。
1:32:53	以上です。
1:32:58	はい。規制庁川満規制庁が、今の話は大丈夫ですか。
1:33:05	はい。
1:33:06	水特になければ、各資料、これで、
1:33:11	次は、
1:33:12	資料の話ですか。この資料の説明してもっていう感じは。はい。
1:33:19	進めるために、はい。今日お話をしておかなきゃいけないところを説明してください。
1:33:25	はい。与儀ニシウラでございます。はい。資料4については最終的には、やりたいこととしては、
1:33:37	13ページに行ってる。
1:33:40	評価パターンっていうのを、今、添付書類の基本的な構成っていうのを考えて、二つのパターンに分けるといようなことで整理してます。
1:33:50	まずこれが、
1:33:52	適切かどうかというポイントがあると思ってまして評価の
1:33:57	目的というのか、評価でやろうとしてること自体のパターンっていうのも多分1パターン分けにはあるのかなと思いつつも現状は電気処理の構成に着目したパターンを危惧しているという点。
1:34:10	あとはその
1:34:14	1方面隊の抽出で評価として何をしていくかっていうのはもっと説明グループ1については絶対すでに整理をしますんで、それを今は、
1:34:23	ニッタ2ポツで書いてる(1)(イ)のパターンに分けた上で、それぞれに対して、どういうことをどういう添付書類で語っていくのかと。
1:34:32	いようなことを、整理をしていこうと思ってます。
1:34:36	整理の仕方は、舞台はどこかという、
1:34:42	7ページからですかね、パターンとして(2)のパターン適合説明の中で、
1:34:48	設計と評価を合わせて説明するようなものも、どういうふうに展開していくかと。
1:34:53	ということで、実際は評価の流れ、評価の方法の流れに沿って、それぞれどういうことを決めていかなきゃいけないかっていうのを提示をしていくと。



1:35:02	右下 9 ページみたいな
1:35:05	それぞれの条件設定だったり、協議会だったり評価で使う式だったり、
1:35:10	ということに対して、
1:35:12	ステップがあってそれをそれぞれどういうふうに進め、整理の舞台を示していくかということで、添付書類側での示し方の構成も決まってくるのかなと。
1:35:22	というふうで、整理をしていこうと思っておりますが、
1:35:25	実際、
1:35:27	これで今、(1)、(2)のそれぞれのパターンで、(1)については、耐震が今回出てきてますので、耐震の
1:35:38	計算書表計算方針、評価指標計算書間の組み合わせでの、どこの構成でどういう構成でどういう添付書類で何を説明していくかと、ということ。
1:35:50	(2)でいくと、先ほどあった、
1:35:54	損益受け皿もありますし他にも、評価物でここに該当するものがありますんで、そういったものを、資料 4 として、添付書類の構成だったり、それぞれの項目に対しての考え方だったり、
1:36:07	いうことを資料 4 の中で整理をしていくということで、具体化していくということで今作業しようかなと思っておりますが、そもそもこの考え方がいいのかどうかというところかなと思っておりました。はい。
1:36:22	以上です。
1:36:25	はい、規制庁です。
1:36:28	出口社長。
1:36:30	写真の説明でありますか。
1:36:39	規制庁の荒井ですけど 3 ページ目ですかね。
1:36:43	3 ページ目で、評価パターンとしては次の分類としては次の商品っていうので、(1)と(2)で分けていると思うんですけども、
1:36:53	それぞれ評価により、何を説明するかっていう観点であんまり、
1:37:01	書いてなくて、多分添付資料がベースにあって、
1:37:05	添付資料の、
1:37:07	という桶に、はい。入れられるかどうかという視点で分けてるっていうイメージなんですか。はい。
1:37:15	なんか添付資料で、
1:37:18	表評価解析チェックなところがまずあり、
1:37:24	それを、
1:37:26	の分類が、(1)と(2)になるっていう、
1:37:29	そういう、今、そういう分け方にはしてますが簿の説明で申し上げたようにこれが本当にいいのかっていう、思っておまして。

1:37:38	とはいえ、頑張りに、
1:37:42	分け方どうするかなんです。
1:37:44	それは、
1:37:47	正直資料 4 のゴールをどこに持っていかで、当然この分け方も、考え方はあるのかなと思っております。
1:37:56	例えば設計の入力条件なるもの、
1:37:59	みたいなもんもので評価が、評価チェック等が必要なものがあると思うんですよね。例えば、入力地震動の設定とか、あとは崩壊熱量の設定とか、
1:38:11	ああいうのっていうのは、(1)と(2)どっちとかになるとか、
1:38:15	あるんですかね。
1:38:16	ハザードレベルの設定ですよね要するに、
1:38:19	労液量溢水量地震動
1:38:22	地震力とか、はい。
1:38:26	あ、すみませんコサクです。
1:38:28	今、
1:38:29	新井さんが言われたのって結局耐震計算書の内数だったり、
1:38:37	除熱計算書の内数だったりということになったりすると思うんですよね。そうだとすると、添付書類の構成から分類されてるならおのずとそこに入ってくると。そうですね。はい。
1:38:49	いうことだと思うので、この分類に意味があるかどうかというときほどないとは思うものの、
1:38:58	資料 4 の説明をした上でそのエッセンスを、添付 2 つなげていかなきゃということからすれば、作業としてこう分けていても、
1:39:07	問題はないのかなと。
1:39:11	この分類。
1:39:13	その中で、館、何だろう、同じしなきゃいけないもの違わなきゃいけないものっていうのが、また
1:39:21	分類し直さなきゃいけないってなると面倒くさいんですけど、サポートの相関性はないのかなと思えば、
1:39:29	別にご自由にどうぞという気はします。一方で、通し 6 ページのところにも同じように(1)(2)と、
1:39:40	あってこれ、同じですよ。はい。同じです。はい。
1:39:46	なんですけど、
1:39:47	このポツの三つ目のところを見る等、設定根拠説明書っていうのが出てきてて、
1:39:56	これってもう括弧 1 画に入らないと思うんですよ。

1:40:00	なので、私としては(1)(2)(3)なのかなと思っ
1:40:06	て、
1:40:07	ですね。はい。
1:40:09	(1)は何かっていうと、耐震計算と強度計算。
1:40:14	かなと思ってるんですけど。
1:40:16	それ以外で何かあります。
1:40:18	対し、
1:40:18	計算強度計算等々は、あれですね、竜巻とかの強度計算、あれも、この部分でいいかなと思ってました。
1:40:27	はい。補足ですそれも含めて、
1:40:31	なので、そうですね。そうすると、(1)っていうのは機械強度っていうか、応力計算をするものと、
1:40:40	いう括りになるのかなと思ってて(2)は性能評価。
1:40:47	であると。
1:40:50	その入力として個別に評価をしなきゃいけないっていうのなので特に
1:40:56	使用表に載っかっているものっていうのが、設定根拠説明書
1:41:01	ということかなと思うので、それで三本に作りつつ、
1:41:06	(3)で入らないような条件設定の評価はカッコ2の中でやります(1)の中でやりますっていうことかなと思ってたんですけどいかがですか。はい。
1:41:16	ございます。はい。ありがとうございます。おっしゃっていただいた通り、
1:41:22	はい。不足です。一旦、新井さんにお返しします。
1:41:26	わかりました大体。
1:41:28	そうすると、(1)のイメージっていうのは、大分これしかないっていうのはできて、各校にっていうのは、
1:41:36	ちょっとこれも設定根拠チックなことなのかなと思いきや、6ページを見るとちょっと違うという話があったので、ちょっと(2)って、
1:41:46	どういこうのをイメージしてるのかっていうのを教えていただけますか。
1:41:50	どっかあつこに、
1:41:52	に該当するそうなもの、崩壊熱除去の評価とか、等
1:41:59	負圧の評価。
1:42:01	あと増益ウエダ書いてスズキページとかに書いてあるの、漏えい量が確率あの日、
1:42:08	抱え込みますよみたいな話ですね、そういった評価方法は、
1:42:13	どちらかという、設計としてこういう構造にしますっていうのがあった上で、その根拠となるものの評価をするっていう、
1:42:22	うん、適合設備の中で1年ソネをしていこうっていうのが(2)。

1:42:27	そうですね。最後の漏液受けたら設定する形と違うのかなって。
1:42:33	違いは何でしたっけ同高さ自体は、確か設定コウ教育であとはその面積も含めて全体で全量開けたときに、補えますっていうのを評価だよ。
1:42:50	いや、やりたい言葉がそれを示してもらえばいいんですけど。はい。
1:42:57	永瀬アカサカです。確かに設定根拠なんですよ。あそこですけどその事情というと、
1:43:07	現状原燃が示しているように、設定根拠説明書では、
1:43:15	漏えい高閉じ込めですかね、閉じ込め能添付書類、参照してくださいみたいなことで飛ばしてっていうことで、現状そういう表現になってるっていうことだと思ってましたけど、懸念があったんですか。
1:43:29	はい。
1:43:32	はい、小塚です。
1:43:34	ただ、
1:43:36	結局どっちでもいいんですよ。
1:43:38	ぐらいの話なんですけど、性能としてまとめて説明しようということがあるので、そうなっていて、
1:43:47	そこはどちらであっても、説明の仕方が一緒であれば
1:43:56	丸い形が少し分割されてるっていうことぐらいだと思うので、
1:44:00	内容が整合するように、
1:44:03	どう説明していくかっていう範疇かなというふうには思います。
1:44:13	ちょっとやってみないとわかんないんです。
1:44:16	おっしゃっていただいたように
1:44:20	仕様表に書いてある。
1:44:22	その根拠を説明しようとしたときに、
1:44:25	そこに1から施工いう設計であって、この設計をもとに表、こういって設定されるんですけどいう、オオモトが、もう他の添付書に書いてあるじゃんっていう時に、
1:44:37	もうその添付書類なんかにも併せて書いて呼び込みに行っても、
1:44:41	結局同じだということだけで、どこに書いてるか、違いたちがいいですけど、はい。そこでも抜けみたいなのが発生。
1:44:55	はい。
1:44:57	いつも
1:44:59	この状態で上出さんが最初におっしゃったように、何を話すって話なので、これの舞台を今、
1:45:06	言って、多分テーブルにのっけて、こういうことなんですって話なのかなと、さっきの3(3)の分類で、
1:45:13	作った上で、

1:45:15	とと思ってました。はい。
1:45:17	それを早く持ってこいっていうのが前から言われてる宿題ではあるんですけど、現状そういうところで作業してますってことでした。はい。
1:45:27	コサクです。それ、そうだと思ってはいるんですけど、今回ある程度、
1:45:33	議論できるようにっていうので頑張られたのかなと思ってまして、
1:45:40	通し 6 ページはそういったところからすると、括弧 2 に設定根拠は入りきれないので、
1:45:49	枠は設けつつということなんですけど今話にあったように、(2)(3)でどっちつかずみたいなものもあるので、そこは説明の仕方っていうことで、
1:46:00	整合を図りながらやっていただくと。
1:46:02	ということだと思ってます。
1:46:05	で、土岐新居。
1:46:08	通し 7 ページからが少し具体ということで示されていて、
1:46:14	すいません、特にあれですかね、8 はい、通し 9 ページ以降かな。
1:46:22	これが資料 4 のイメージにもなっていくんだろうなと思うんですけど、まずはプロセスを明確にしますと、
1:46:32	いうことでそれに対して、順々に話をしていきますっていう、
1:46:38	ことで有井で順々にといったときに今、すごい漠っと 2 ポツサンポつってなってますけど、
1:46:44	これをその一つ一つ具体的にしていく必要があるんじゃないのかなと思っていて、
1:46:50	というのは資料 3 でも話しましたが、やはりこれにはエビデンスが必要でエビデンスって何ってなると、系統図だったり配置図だったり、構造図だったり、
1:47:04	いうことにもなってくるんですけど、そうすると資料 3 との関係はっていうことになるんで、
1:47:12	その点をどう進めるのかっていうところのイメージをお聞かせいただけますか。はい。人間イシダでございます。うん。そうですねおっしゃっていただいている通りで
1:47:23	もともとの資料 4 と資料 3 だったり資料 2 でのコンセプトもそうですけども、こういった評価の流れを書いた時にそれぞれ評価条件とか評価に必要な情報ということで出てくるものが、
1:47:37	資料 3 で、構造設計なりの設計項目の中でその設計なりが登場すると。
1:47:44	というような形で展開をしていけば、このいわゆる例えば、
1:47:50	10 ページですかね、20 ページ書いてサンポつ一堂への設定で書いている。

1:47:56	構造とか、液体の保有量みたいなものは、資料 3 のどこどこから持ってくればもとはそっちにあります。
1:48:06	ということかなと。工程なんかシステム設計側でその全体の流れを変えて言えばその情報とのリンクを図ると。
1:48:14	ということかなと。それをもとに、資料 4 では、これをこういうふうの評価のポイントとしては条件設定を考えますよみたいなところが、書き下せるということ。それをどういうふうに、
1:48:27	例えば 3.1 のところの上の情報と、(1)(2)の情報を結びつけて且つ(1)(2)がなぜこういうふうになるのかというところを書き考え方を、資料 4 では説明をすると。
1:48:39	いう関係性かなと思ってました。
1:48:44	はい。補足です。その通りだと思ってて、ただ、資料 3 って、
1:48:52	一対一にはならないようなところがありかき集めなきゃいけないことがあると思うんですね。
1:48:58	なのでその間を埋めるようなところで
1:49:02	整理を、ホデをしてその具体というのが資料 3 を見てください。資料 3 のどこを見てくださいねみたいになるといいんだらうなと思ってます。
1:49:12	特にですねA漏洩量でここだと最大保留行を有する 1、
1:49:19	きって言うてるんだけど、本
1:49:21	どれとか、
1:49:23	それで本当にいいのってということについて、それを網羅的には資料 3 ではわからないと思うんで、
1:49:32	関連する。
1:49:34	一連の機器って何ですかっていうRIS等、
1:49:37	等、
1:49:38	それがその漏洩量としては幾つになるのか、最大がどれかで、いうところはわかるようにしてもらう必要があるかなと。
1:49:48	思ってますんで、それを踏まえて
1:49:52	その炉保有量ってどうやってさ、算定するんですかっていう考え方を示していただいて、
1:49:59	それを示し方の付帯っていうのはこの最大保有量のもので説明いただくと、そのリストのほかのものも同じようにやってるんですよっていうことであればそれでいいし、
1:50:10	そうじゃない機器がまじっているのであれば
1:50:14	その保有量の算定の仕方っていうのを提示していただく。
1:50:19	ということだったり、或いは他の場所でパターンのやつが最大保有量として 0 提示されてるのであれば、

1:50:26	そっちの方の説明を利用する形で説明するとかですね。
1:50:30	いう工夫をするといいいんじゃないかなと思いますけど、イメージわかります。はい、西田でございます。ありがとうございます。はい。イメージは、
1:50:39	認可しました。はい。
1:50:42	はい、そうです。で、リスト本当に関係機器、網羅的に挙げられてるっていうのは、系統数だったり配置図だったり運用しながら、
1:50:55	ちゃんと上がってますよっていうことを説明をするということだと思いますので、それに対応いただいて、
1:51:05	あくまでその説明し、資料4の代表説明になるので、そういうパターンで一通りやってますよということがわかるように説明をいただくと。
1:51:16	いうことであり、そのパターンから外れる。
1:51:20	質問。
1:51:23	評価のものがあれば、例えば先ほどの保有量の算出がちょっと違ってあるというものがあれば、提示をし、
1:51:31	代表を、この評価の代表でやって、
1:51:35	いるものじゃないところがあれば、別のこういう場所ではこういう保有量の計算もありますよという紹介してもらわなきゃいけないしと。
1:51:44	いうことだと思うので、そういった観点での網羅的な説明ができるように準備をしていただきたいと思います。
1:51:52	はい、上西でございます。はい、ありがとうございます。今、お話のあった通りに含めて、整理を進めて、
1:52:01	具体的なイメージ、
1:52:03	パーツをですね、示しできるようにしていきます。はい。
1:52:10	はい。コサクです。
1:52:14	%徳田アノシムラ
1:52:18	えーっとですねその後、
1:52:22	いけると、先ほど石原さん言われましたけどこの10ページで言えば、(1)(2)ってありますけど、なぜああだ、これあれか、そもそも、
1:52:32	2ポツの方ですね。
1:52:34	評価対象の設定っていうのが何でこれでいいのっていうのはこれ言い切り型になっちゃってるので、
1:52:42	こういうものについてこう評価しなきゃいけないよという、まず要求事項がはっきりしてないといけない。
1:52:49	ですね、要求事項を説明するためにはこういうことが必要です。
1:52:55	こういう視点で、評価をします条件をこれであれば要求事項について対応つきますよという、その関連性がわかるようにしていただきたいんですけどよろしいですかね。はい。

1:53:08	笹井。承知しました。おっしゃる通りですね。はい。
1:53:12	はい。
1:53:13	古作です。そういう観点からすると、2 ポツの対象何って言えば
1:53:20	液体を扱う場所っていうのがどこですかっていう配置設計だったりっていうことになるかなと。
1:53:26	思うんですけどいかがでしょう。はい、西田でございます。まさしくおっしゃる通り、上流から来れば当然、
1:53:32	要求事項があってその対象が液体を取り扱うグローブボックスオープンポートボックスあればそれが一体どこにいるんですかってどういう5点特にありますか。
1:53:42	それって一体どんな設備があるんですかみたいなことが順番にこう書きくださいっていくつかブレークされていってイメージだと認識をしていますはい。
1:53:52	はい。コサクですよろしく申し上げます。
1:53:55	次の11ページにいけば、受け皿の面積とか欠損部の容積ということで、支店はいいと思うん
1:54:05	ですけど、この
1:54:08	ところで言えば寸法からってところについて構造設計とのリンクが張られるし、
1:54:13	これも
1:54:16	形状によって表現の仕方が違うと思うのでその点も整理をしていただければなというふうに思います。
1:54:25	欠損部の容積については、今はないそう課題等ということになってますけど、
1:54:32	これも受け皿の構造だったり、その内容に応じて、ここの欠損部ってのは何かっていうのが違ってくると思いますし、
1:54:43	その欠損部の容積の求め方っていうのも違ってくると思うので、その点を網羅的にできるように整理をいただければと思ってます。
1:54:52	はい。イメージでございます。はい。ありがとうございます。はい。この辺もそうですねおっしゃる通り、言ってみれば、
1:54:59	許可の時も急いでやってるのと同じようなやり方な気もしますので。はい。考えますはい。
1:55:05	はい。補足です。ここに設計図書ってあるんですけど、これもエビデンスという意味では、提示いただく必要があるものと思いますので、資料4の中で、抜粋の形でつけていただいて、
1:55:22	全体的に網羅した説明になればいいんだろうなと思っ
1:55:26	てますんで、資料4はそういう形ですけど、



1:55:31	補足説明資料の中である程度拡充して、まとめていくということだろうと思ってます。具体的にとアノセト、補足説明資料の要約版みたいなのが、資料4になると、
1:55:45	いうイメージで言いますけど、あってますか。はい。
1:55:50	はい。
1:55:50	はい。
1:55:54	全部覚えてきた。はい。ありがとう。
1:55:59	はい。古作です。この阿藤。
1:56:03	42 ページ以降での状況とかも少し話をしたいんですけど、まずここまでで、規制庁かも含めて、
1:56:11	イメージとしてもうちよっと話をしたいことがあればお話ししたいと思うんですけど、何かありますか。
1:56:27	ユリ。
1:56:29	タカダです。ないようだったら、すいません、11 ページ以降出たんですけど、
1:56:34	まず通し5 ページの話をさせてもらえますか。
1:56:41	通し5 ページで
1:56:44	資料2 から項目を抽出をして、それを資料4 に展開をしますと、そこで具体的に何を説明するかを明確にして、
1:56:55	資料整備していきますよってということなんですけど。
1:57:01	固定挙げられてるのが、真ん中の上で主要寸法主要材料っていうのが挙げられて、
1:57:10	いる。
1:57:12	ですけど、
1:57:14	この扱いが、
1:57:18	構造設計と評価。
1:57:21	入ってて、
1:57:23	ただ書いてあるところ
1:57:29	等、
1:57:32	材料構造の関係っていうのがここは或いは耐震っていう関係は、見えてこないんですけど、その辺りはどういう整理をしているかを説明いただけますか。
1:57:45	はい、弓削西原でございます。はい。
1:57:49	そうですね。多分そこを示すためには、
1:57:55	おっしゃる通り、程度、在校のところに強度評価の対象にも確かにエザワなっているので、
1:58:10	今、何番だっけ。

1:58:12	後のグループに出てくるやつが、
1:58:17	関係者が見えないじゃ見えないんですね。
1:58:19	今は全然リンクタテ止めてないと思うので、条文、同跨ぎのところは、
1:58:26	ちょっとそこは整理をして明確になるようにしないとイケないと今認識しました。はい。
1:58:33	はい。コサクです当然そちらの条文では拾われることになると思うんですけど。
1:58:39	ここでその溶接した構造って書いてあったりってところもあるので、関連を付けといた方がいいのかなあという気もしました。後ろの表の中では、耐震に紐付けをしているものもあったりするので、
1:58:52	ちょっとその耐震強度の関係紐づけをどこまでどうするのかみたいなのは整理をしといてもらえればと思います。
1:59:03	この指標のところでの戻る等、先方材料が書いてあるんですけど、
1:59:11	そっか。
1:59:13	と寸法の内数として、漏液受け皿高さというのがあるので、商標の表現は括弧書きを抜いてるからこれでいいってことなんですかね。
1:59:26	はい、日本インダでございますそうですね実際、そう。わかりづらいのは確かに、左側に書いて主要寸法と書いてる項目欄。
1:59:37	から多分ピックアップして、この項目持ってきますけど、来てますけど、回転がSRの右側にいる括弧書きで書いてある高さを変えて、確かだったはずなので、その関係がちゃんと仕様表の欄でもわかるようにしないとイケないと思いますはい。
1:59:53	はい、佐藤です。
1:59:56	そうですね。何、何、何の視点かがもうちょっとわかるでいいなと思ったのでお話しました。で、
2:00:04	高佐田、江田藤先ほども評価の方では、面積ということが挙がっていて、面積とすると、形なのか、タテ行うのかってということも大事なんですけど、
2:00:18	そこは主要寸法に入っていないんですか。
2:00:29	はい。
2:00:34	乳井西原でございます。そこはすいません失礼しました。高さだけじゃなくて、伊達横田かですね、あとアカサカアノ書いてあるのは、はい。です。
2:00:44	こないだの、今、私も抜けてましたね。この間のシーズ、共通要因で出したってのは457ページに数字書いてなくて、項目だけ書いてあるところが正しく

2:00:56	縦横高さっていうのが、仕様表の項目としてありますってのは宣言しました。はい。
2:01:04	はい、そうです。そういった点。
2:01:07	がわかる等もう少し
2:01:09	この項目で何を説明するのかっていうところがわかるかと思うんですね。後で面積っていうのでも出てきてますし、これだと高さだけっていう感じに見えちゃって何か、
2:01:22	逆にまず最終的に評価をする。
2:01:26	ところに持つてくのは高さっていう次元のもので、対応するというのではありつつも、評価条件にはその面積が出てきてということだと思うので、ちょっと表現ぶりを改善してもらえればいいかなと思います。
2:01:41	はい、西田でございます。はい。
2:01:46	はい。それとの関係でいう等下の欄
2:01:51	明日の表で、
2:01:54	10条-11の行の説明すべき項目が、必要容量になってるんですね。
2:02:05	これは、なぜ高さじゃなくて容量なんですかね。
2:02:13	はい、乳井西尾でございます。ちょっとここは、考え方を整理させていただきます。多分、確かですねこの要領って書いてるのは、
2:02:24	実際タンクから出てきた
2:02:28	液を受けられる容量があるっていうのを最終的に確認したいということから書いてると思うんですけど、実際、
2:02:37	判断基準は高さが足りてるかどうかでことからはすると、評価したいことに対する説明すべき項目とは若干ずれてしまうのでそこは整理をし、考え方を整理した上で、適切に展開をしていきたいと思います。
2:02:52	はい。私はどちらでもいいんですけど、その下は高さになったりするし。はい。
2:02:59	平仄が合っていないと作業者が混乱して見方が非常に難しくなるので、整理をしていただければと思います。
2:03:07	同じようにですね、気になったのが右側に書いてある評価項目の欄なんですけど、これ、妥当性評価という言葉を一発懸命書いてるんですけど、
2:03:18	それ自体は当たり前の話なので、それよりはもうちょっと意味合いがわかるようにしてもらった方がいいかなあというふうには思います。
2:03:28	はい。人間インダでございます。はい。
2:03:32	逆に言うと、これこそ要領とかですね、そういうことだと思うんですよ。漏れたものがちゃんとおさまるかとかっていう、
2:03:40	要求事項がわかるようになって言った方がいいですかね。はい。

2:03:45	西田でございます。はい。ありがとう。
2:03:50	はい。古作です。
2:03:56	あと、ここは、
2:03:58	関係性を示すだけなので、そんなにこだわらなくてもいいと思うんですけど。
2:04:03	緑四角囲みしたのと青で四角がコウミズタの意味合いなんですけど、
2:04:12	等、
2:04:15	緑の、
2:04:16	上の四角囲み 2 仕様表が、
2:04:20	入れてない理由は何ですか。
2:04:34	他意味ないんですか。
2:04:36	はい。CFOってのははい、どうぞ。
2:04:39	四角囲みが上業務になって、この枠ってその下、下の仕様表の 3 行も含めての枠のはずだけどっていう。
2:04:47	ことなんですけど。
2:04:50	はい、日本イシダでございます。これ
2:04:55	どうなのあんまり意味がないというかもととの吹き出しでそれぞれ書きたいことを、リンクをさせている部分が、
2:05:04	分けた理由だとは思ってはいるんですけど、とはいえ全体説明すればいい値分ける必要もないと。
2:05:11	記載の仕方と株リンクの測り方であったり示し方、
2:05:16	定義をしています。はい。
2:05:20	はい。補足です
2:05:22	資料にD評価というふうに書いたものを、資料 4 に持っていくますよっていうことであり、その時に金COCOコード枠で主要表って書いたものを、
2:05:34	資料 4 のところにも持ってきますよという趣旨なんだろうなと思って。
2:05:40	それが読み解けるようにしてもらえればいいかなと思ってます。そうすると、資料 4 側の
2:05:48	青の枠が使用表。
2:05:52	表、阿蘇仕様表だからいいのか。
2:05:55	そうですね。はい。よろしくお願ひします。この評価条件高さって書いてあるところは先ほどと同じなのでうちちょっと解説して欲しいと。
2:06:04	いうところだと思います。
2:06:12	はい。それは、
2:06:16	12 ページエスポー。
2:06:20	なんですけど、これ、12 ページワー

2:06:26	地震、
2:06:27	耐震ということ、前ページ、13 ページでしたね。
2:06:32	いうことであってここ
2:06:36	耐震関係の評価は、いろいろ議論があると思うので、
2:06:43	やっていただいたらいいかなと思う。
2:06:48	です。ここまで細かくやる必要があるかどうかもちよっとよくわからないんですけど、どちらかテーパーのこの内数の中でいろいろあってということを整理いただければいいんだと思ってます。
2:07:00	けども、話題にするなるのは、
2:07:05	機能維持って関係だと。
2:07:08	他の条文ともまとめて、ときに議論しなきゃいけないのは機能維持とか、
2:07:13	して、
2:07:14	43 ページの一番上のところからですかね。
2:07:19	ええ。
2:07:21	61-1 だったり、
2:07:25	ダテちゃっているところでもいいのかな。
2:07:27	なんですけど、ここは各条とのリンクを図るべきところだと思いますけどいかがでしょうか。
2:07:43	西原でございます。今おっしゃっていないですか。
2:07:50	ていうか、まだ整理ができてないんですけどほうがいいのかもしれない。関係とか、そういうことですよ。はい。
2:07:56	はい。Fの動的機能維持とかですね、その下の電氣的機能維持で多分この言葉だけでは押しきれていない各条要求の機能を達成するためのってところが多分足りてないんだと思う。
2:08:09	あとその上の閉じ込め機能一部ですね。はい。
2:08:15	はい。その辺、ちょっとすいません整理をしていきます。はい。まだ現状うまく整理。
2:08:21	はい。
2:08:22	これ比較的早めにやっておかないと、耐震評価の方が進みが悪くなるとって、
2:08:36	その関係がですね最後の 14 ページの一番下。
2:08:41	23 条換気設備だと 23 条 21 ですね構造強度と書いてあるんですけど、経路維持で、
2:08:50	Ss地震力に対して、
2:08:53	耐震性について評価をするってなっているんで、こういったところをピックアップしていて、耐震経産省、今野です。56 条のところですね。

2:09:04	今度どこに繋がっていくのかっていうことを明確にするということだと思ってますけど、認識は、
2:09:11	合ってますでしょうかというか理解できましたでしょうか。日本原燃、ございます。ありがとう。
2:09:17	はい。
2:09:20	はい、古作です。あと、少しだけちょっと時間過ぎてますけど、
2:09:26	十条、
2:09:28	はい。
2:09:29	この表の 12 ページの一番上ですね。
2:09:32	これ二つ上がっていて先ほども二つあるんですけど、これって受け皿なのか、漏えい防止堰なのかっていうこと構造体としては違うんですけど、
2:09:43	評価で言えば、漏えいというか、のを、
2:09:48	の発生元が何か考慮すべき最大値は何かということの評価するのと、
2:09:54	受けられる容量って幾つですかという。
2:09:58	計算をしてその大小関係を見るというやり方とすると同じかなと思ってますけど、いかがですか。はい。
2:10:10	はい。大庄の美馬。
2:10:13	グローボックスナカ。
2:10:15	部屋としての積みたいなものかっていうのが違うだけでやってることは同じだと。
2:10:20	はい。
2:10:22	はい。補足です。
2:10:24	なんですけど、どこだっけかな。
2:10:28	グループ 1 かグループさんかかっていうことがあって全く別個に、
2:10:32	説明をしようとしてされているようで、
2:10:37	7、7 ページですね。
2:10:40	ええ。
2:10:43	説明グループ 1 でスグループさんですとだけ書いてあるんですけど、資料 1 として、2-1 での資料 3 としてはグループ 1 グループさんっていうのはそれはそれでいいと思う。
2:10:55	ですが、
2:10:57	だとしたらグループ 3、2-1 の方の資料 3 でのグループ 3 が終わったところ或いは同時のところ、2-2 としてはまとめて説明しますでもいいような気がするんですけど、どう進めるつもりですか。はい。
2:11:13	上西でございますこれはちょっと、大変失礼しました。前々から私も、

2:11:19	入ってたと思うんで資料の3までのグルーピングと、資料4のグルーピングは同じにやろうとは思ってません。くり方、グルーピング類型も含めて、
2:11:32	どのタイミングでやるのがいいのかっていうのを考えて、その別のグルーピングっていうかね、を考えなきゃいけないと思ってました。はい。
2:11:39	そういう意味では先ほどの審査会合の進捗のところもう資料とかがばつと1本で一つの枠にして、特に分けてないのはこういう整理をやって、どのグループどれとどれを一緒にやるのがいいのかっていうのを考えていかなきゃいけないというのが思ってるところでした。はい。
2:11:55	はい。コサクです。なので、その入口として、1、2-1の説明もしてないのに家の人は入れない。
2:12:06	関連するものが2-1としてどこのタイミングになるのかっていう意味で提示をしその上で、
2:12:13	2-2としてはどうするのかと、いうことがわかるような整理をしていく必要があるだろうなというのがこれで見えてわかるかなと思ってますと、そうすると、資料4の中での累計ってどうなるのということを、
2:12:28	イメージを作らなきゃいけないということで、今のパターンは
2:12:36	インプット側、受け側っていう
2:12:39	評価をそれぞれしなきゃいけないものっていうのがこのパターン、特に漏えいっていう視点でもあり、添付書類の閉じ込めっていう古藤なので、
2:12:50	アセットかなっていうふうに思っているっていうことなんですけど、それ以外にですね、どれぐらいの累計を取る必要があるのかということだと思います。で、
2:13:01	特に設定公共、
2:13:04	に行くようなものっていうのは、共通事項なのであまり累計どうこうと言わずに、出てきたところで説明をして、なるべく、
2:13:14	後段で出てくる報告まで含めてまとめて整理ができるようにしていかがどうですといえるようにすればいいかなと思うんですけど。
2:13:23	先ほど(2)で類話をされた個別個数添付書類がつくようなものについては、
2:13:33	一つ一つなのか、幾つかまとめるのかといったところを少し整理をする必要があるんだろうと思ってます。
2:13:39	その点で言う等、まず除熱計算というのは一つ立つんだろうなと。
2:13:46	思う。
2:13:47	でて、

2:13:48	閉じ込めの関係からは、その閉じ込めというか、ここでもある換気の関係っていうことですかね。ほどこまでにするかなあというところではないです。除熱は一つ立つのかなといったところでいうと換気とも関係するんですけど、
2:14:05	そこはその分割して、関連性は説明しつつだと思えますけど分けるっていう方向ですかね。それとも、もう一体で何とか説明し切っちゃいますってことですかね。
2:14:18	分けてやろうと思ってました。はい。
2:14:22	はい、そうです。わかりました。やはり、除熱の計算ってなると、いろいろと評価条件なり評価方法なり、
2:14:30	ていうところで議論を深めなきゃいけない。
2:14:33	ところがあるので、それでいいのかなというふうには思います。ここでいうと17条の17-6のところでは崩壊熱。
2:14:43	助教。
2:14:44	いうところがあり、かつ、十七条の21っていうところでも、
2:14:53	この部分、どういう枠でどうやって説明するのっていうのをもう少し具体的に提示いただけるといいのかなと。
2:14:59	それとあと、換気風量については、右側の欄で20条の必要排気風量で示すとあってもいいので、
2:15:08	こういう表を作りつつ、そこら辺の関係性どういうふうにするのかを、もしポンチ絵なりで説明いただけると、資料4のイメージ、或いは、分けつつも総合関係こういうふうにつなげますということがわかるかなと思いますので検討をお願いします。
2:15:23	はい。与儀。
2:15:29	はい。古作です。
2:15:34	除熱関係はそれでもろもろ整理してもらわなきゃいけない。伝熱条件どうやって設定するの。それに応じて、
2:15:45	資料3との関係とかっていう説明も必要になったりする人。
2:15:50	ということなので整理を進めていただくとして、
2:15:55	一方で評価をする。
2:16:00	もうね、
2:16:01	例えば、
2:16:03	風量だったりというだけにもなってくるので、
2:16:08	そうすると一、先ほどの
2:16:13	漏れい液受け皿のようにですね、
2:16:15	発生量と容量とという時の容量っていうのはもう、定格値との比較みたいなことだけで済むって、



2:16:25	評価としては要求がどういうものかっていうところを、
2:16:29	算出していくと。
2:16:31	いうことに特化されるっていう意味ではある程度その超過パターンというのは、
2:16:38	まとめられるんじゃないかなと。
2:16:40	いうふうに思いますので、その際に
2:16:44	パラメータが何かによって類型が整理されて説明を積み上げてます。
2:16:51	いうことだと思うんですけど、ポンプだけは+原動機っていうのがあるので、それは限度技術力の求め方みたいなことを説明しまえば、
2:17:02	プラスアルファでしないとは思うんですけど、評価パターンということで整理をしてもらおうといいかなと思ってます。
2:17:10	はい。
2:17:12	はい。
2:17:16	整理を進めていきます。はい。
2:17:21	はい。ちょっとです。大体お話できたかと思うのD、次のステップ何をしなきゃいけないかは明確になったかと思うんですけど、
2:17:31	これ、次の段階でどういうふうに進めるんですけど。
2:17:38	来週。
2:17:41	様。
2:17:45	午前中の進め方の中でちょっと合わせて、今日のような形でやらせていただければなと思ってます。そこで
2:17:55	今、全体としてやらなきゃいけない作業みたいな、とそれぞれどういうふうにやっていくかみたいなもののイメージを、今、展開をしていくと。
2:18:06	ということかと思います。はい。最終的には、それを、
2:18:15	運用上説明グループ1の資料4に展開するってところを、12月の頭ぐらいに持っていければなと思ってました。ちょっとそこも
2:18:26	やり方アウトプットのイメージと、どう進めていくか全体の考え方みたいなスケジュール化ですねそれも次回、資料としてお手伝いする時に全体が見えるようにはさせていただきたいと思います。はい。
2:18:44	はい、古作です。
2:18:47	わかりました。大体イメージはついて進められると思うのでよろしく願いします。で、ちょっと心配したのは、
2:18:56	資料打倒A投資4ページのところに資料に整理をして、
2:19:02	まとめてやっていきますということなんですけど資料2自体が、新野イチノセ整理資料3に繋がる整理のグループで順々になっていく形になるので、

2:19:15	評価の方で網羅的に整理をするってインプット作りからすると全部やらなきゃいけないということになっちゃうんですけど。
2:19:23	その点では、
2:19:25	どうなってるのか、資料 2 は先行して一通りやれているので、精査はあるものの、
2:19:32	今月中にざっと資料 4 の全体体系っていうのを示せるっていうことなのかっていうところはいかがでしょうか。
2:19:39	はい、上西でございます。はい。まず、現状とちょっと僕は今の状況からいくとおっしゃっていただいて、全体のグループを見渡して、
2:19:50	この作業ができる状態まで資料には、ベースはあるので、そこで展開をしていくということで思っていました。はい。
2:20:02	はい、わかりました。今日も 12 ページ以降で表ができる。
2:20:06	できてることもありますね、ある程度話ができるんじゃないかなと思いますので、次回お話ヤノことが
2:20:16	資料として起こされて、より明確になっていければなと思います。よろしくをお願いします。
2:20:27	規制庁管です。オカ規制庁がわかります。
2:20:33	なければ、
2:20:34	振り返りといってもさ、最後の方。
2:20:38	フクダなんて言わないですけど何か、
2:20:42	乳井西原
2:20:44	はい。ございません。今日は、
2:20:50	はい、規制庁
2:20:51	ではほか全体でなければ、
2:20:54	よろしいですかね。これでヒアリングを終了します。素晴らしい。
2:21:01	お疲れ様でした。